

書評 202005



ザ・チェーン連鎖誘拐<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 462-4)

エイドリアン・マッキンティ 著

早川書房

レイチェルの娘が誘拐された。犯人の要求は身代金の送金と他人の子を誘拐すること。犯人もまた息子を誘拐され、人質にとられていた。何者かが仕組んだこの連鎖誘拐システム<チェーン>は、首謀者にたどり着くことができず...

2020:2./ 292p

978-4-15-183304-5

本体 ¥780+税



産経新聞 2020/05/02



ザ・チェーン連鎖誘拐<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 462-5)

エイドリアン・マッキンティ 著

早川書房

娘を救うため、レイチェルは元義兄の退役軍人と共に無関係の子供の誘拐を計画し、実行しようとする。だが、彼らの前にトラブルが立ちはだかり...。誘拐の連鎖に囚われた彼らは、はたして<チェーン>から抜け出せるのか?

2020:2./ 277p

978-4-15-183305-2

本体 ¥780+税



産経新聞 2020/05/02



新・紫式部日記

夏山 かほる 著

日本経済新聞出版社

藤原為時の娘・小姫(後の紫式部)は漢籍に親しむ文学少女。幼い頃から彼女が書く物語は評判をとっていた。時の政変により父が失脚するが、小姫は物語を書き続け、やがて主の藤原道長から物語の女房を命じられ...

2020:2./ 227p

978-4-532-17154-4

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/05/02



NHK スペシャル 絵本恐竜超世界～デイクケイルス・トロオドン・モササウルスの物語～

三木 茂 著

徳間書店

NHK スペシャル「恐竜超世界」で制作された精細な CG を使い、中生代の白亜紀に生きていた恐竜「デイクケイルス」「トロオドン」「モササウルス」の3種の生態に迫る。

2020:1./ 63p

978-4-19-865021-6

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2020/05/03



世界中の医学研究を徹底的に比較してわかった最高のがん治療

津川 友介／勝俣 範之／大須賀 覚 著

ダイヤモンド社

「最高のがん治療」では何をするのか。食事やサプリでがんは治るのか? 「トンデモ医療」はどうやって見分けるのか? 世界中の医学研究を徹底的に比較してわかった、がんにも最も効果が期待できる治療法を解説する。

2020:4./ 254p

978-4-478-10689-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/05/03

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、資料 No.、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2020年6月時点での税抜価格です。



裸の天才画家 田中一村

大野 芳 著

平凡社

奄美の陋屋で死を迎え、このまま歴史の波間に埋没する運命にあった田中一村。異端の日本画家は、死後いかにして見出されたか。最晩年、彼の才能を発見し、下支えた無名の人たちの物語。

2020:2./ 289p

978-4-582-83831-2

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2020/05/03



金曜日の川柳

樋口 由紀子 著

左右社

ひとすじの春は障子の破れから 街枯れて切絵の魚が眠らない お金貸してと言う友もいるこの世 333 句を収めた川柳アンソロジー。ウェブサイト『ウラハイ=裏』週刊俳句』連載に加筆修正して書籍化。

2020:3./ 355p

978-4-86528-268-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/05/03



日本のお弁当文化～知恵と美意識の小宇宙～

権代 美重子 著

法政大学出版局

百姓や雑兵の携行食、観劇のお供の幕の内、各地の名産の詰まった駅弁、松花堂や禅林の心得、現代のキャラ弁…。庶民のエネルギー源であり美意識の表現でもあったお弁当の歴史を、器や食の作法の伝統に注目しながら語り下ろす。

2020:4./ 252p

978-4-588-30052-3

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2020/05/03、東京・中日新聞 2020/05/31



美しい日本語 荷風<2> 人生に口づけする言葉

永井 荷風、持田 叙子、高柳 克弘 著

慶應義塾大学出版会

永井荷風の生誕 140 年、没後 60 年を記念して、荷風の美しい日本語を詩・散文、俳句から選りすぐり、堪能できるアンソロジー。2 は、「砂糖」「燈火の巷」など、人生という時間を愛する術を教えてくれる言葉を収録。

2020:1./ 220p

978-4-7664-2617-5

本体 ¥2,700+税



産経新聞 2020/05/09



小津安二郎の俳句

松岡 ひでたか 著

河出書房新社

稀代の名監督・小津安二郎は、味わい深い俳句を多く残した。確認できる生涯二百二十余句すべてを掲載し、その映画人生との関連も含めて味わう、小津俳句鑑賞本。

2020:3./ 190p

978-4-309-02872-9

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2020/05/09、東京・中日新聞 2020/05/09



あなたの不安を解消する方法がここに書いてあります。(14 歳の世渡り術)

吉田 尚記 著

河出書房新社

不安とは、相手に受け入れてもらえないかもしれないというコミュニケーションの不安のこと。不安は行動でのみ解決する。どんな行動が解決を導くのか？ 必ず誰でもできる吉田式「不安解消メソッド」でその方法を具体的に示す。

2020:4./ 195p

978-4-309-61722-0

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/05/10



緋色の残響

長岡 弘樹 著
双葉社

ピアノ教室で生徒が急死した。死因は食物アレルギー。不慮の事故と思われたが、犯人の存在が浮上し…。「傍聞き」のシングルマザー刑事&新聞記者志望の娘が主人公の連作短編集。『小説推理』掲載を単行本化。

2020:3./ 195p

978-4-575-24260-7

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/05/10



陸軍中将樋口季一郎の遺訓～ユダヤ難民と北海道を救った将軍～

樋口隆一 著
勉誠出版

満州に逃げてきた多数のユダヤ難民を救い、スターリンの北海道占領計画を阻止した樋口季一郎中将。その孫が、シベリア出兵から大東亜戦争末期に至る日本の迷走を情報将校として身をもって体験した祖父の記録を明らかにする。

2020:4./ 14p,532p

978-4-585-22273-6

本体 ¥4,500+税



産経新聞 2020/05/10



松岡洋右と日米開戦～大衆政治家の功と罪～(歴史文化ライブラリー 496)

服部 聡 著
吉川弘文館

日米開戦の原因をつくった外交官として、厳しく評価されている松岡洋右。しかし彼は、日米戦争回避を図って行動していた。その狙いはなぜ破綻したのか。複雑な内外の政治状況を繙き、人物像を再評価する。

2020:3./ 8p,222p

978-4-642-05896-4

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2020/05/10、日本経済新聞 2020/05/30



サガレン～樺太/サハリン境界を旅する～

梯 久美子 著
KADOKAWA

かつて、この国には“国境線観光”があった。樺太/サハリン、旧名サガレン。北原白秋やチェーホフ、宮沢賢治らも訪れた境界の島。いったい何が彼らを惹きつけたのか？ 賢治の行程を辿りつつ、近現代史の縮図をゆく。

2020:4./ 285p

978-4-04-107632-3

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2020/05/10、毎日新聞 2020/05/30



流浪の大地

本城 雅人 著
KADOKAWA

大手ゼネコンに勤める新井は、日本初の統合型リゾート(IR)の工事責任者を任される。だがそこには政財界を巻き込む陰謀が渦巻いて…。黒く塗りつぶされた工事資料の真実とは？『小説野性時代』連載を単行本化。

2020:2./ 413p

978-4-04-107770-2

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/05/16



カレンの台所

滝沢 カレン 著

サンクチュアリ・パブリッシング(サンクチュアリ出版)

冷たい何も知らない鶏肉に、お?油を全員に気付かれるくらいの量を、無邪気にこんちくしょうと混ぜてください。鶏の唐揚げをはじめ、ハンバーグ、しょうまいなどの作り方を、物語のように綴った超感覚レシピ本。

2020:4./ 135p

978-4-8014-0075-7

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/05/16、毎日新聞 2020/05/30



障がい者だからって、稼がないと思うなよ。～ソーシャルファームという希望～

姫路 まさのり 著

新潮社

障がい者だって働きたい、自立したい。そんな「当たり前」を実現させたフレンチレストラン、クッキー工場、ワイナリー、美術館など4つの成功事例をじっくり紹介する。

産経新聞 2020/05/17

2020:3./ 221p

978-4-10-353261-3

本体 ¥1,364+税



暮らしの中に終わりと始まりをつくる

一田 憲子 著

幻冬舎

暮らしも人生も、「一段落」を取り入れると、みずみずしく動き始めていきます。50歳になった著者が見つけた、新しい自分になっていくための小さな工夫。自分をリセットしていく人生の習慣41を紹介しします。

産経新聞 2020/05/17

2020:4./ 207p

978-4-344-03600-0

本体 ¥1,400+税



英国バレエの世界

山本 康介 著

世界文化社

元バーミンガム・ロイヤル・バレエのファーストソリストが、バレエとの出会いから現在までを語り、英国バレエの歴史や最旬事情を紐解く。英国のおすすめ演目徹底解説も掲載。レッスン動画が視聴できるQRコード付き。

産経新聞 2020/05/17

2020:3./ 222p

978-4-418-20202-7

本体 ¥1,800+税



ニコラエフスキの日本人虐殺～一九二〇年、尼港事件の真実～

アナトーリー・グートマン 著

勉誠出版

ロシア革命後の、赤色パルチザンの実態とは? 1920年にロシア極東のニコラエフスキ市で起きた日本人虐殺事件「尼港事件」の真実を、事件直後のロシア「調査委員会」報告と生き証人達の生々しい証言で明らかにする。

産経新聞 2020/05/17

2020:4./ 20p,326p

978-4-585-22274-3

本体 ¥3,800+税



「数字」のコツ～商談・会議・雑談でなぜか一目置かれる人が知っている～

山本 峻平 著

あさ出版

他社より目立つには「3割」の差をつくる、集中力を圧倒的に高める「25分・5分」ルール、数字をつかむ基本は「倍数」と「分数」…。ビジネスの現場で役立つ代表的な数字や法則を数多く紹介する。

産経新聞 2020/05/17

2020:3./ 231p

978-4-86667-191-8

本体 ¥1,400+税



ゲコノミクス～巨大市場を開拓せよ!～

藤野 英人 著

日本経済新聞出版社

日本の成人の半分以上を占める「お酒を飲まない人」をターゲットに市場が開拓されれば、新たな成長産業となる可能性が高い。巨大な「ゲコ(下戸)市場」の可能性についてゲコの投資家が提言する。糸井重里との対談も収録。

産経新聞 2020/05/23

2020:5./ 230p

978-4-532-35855-6

本体 ¥1,500+税





猫からのおねがい〜猫も人も幸せになれる迎え方&暮らし〜

ねこねっこ 編

ねこねっこ

2020 年から施行の「改正動物愛護管理法」で猫との暮らしはどう変わる? 今の時代に合った形で、猫を迎える前から知っておきたい知識や飼い方をまとめたガイド。改正法のポイントも解説する。

2020:3./ 175p

978-4-910212-00-5

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/05/23



お肴春秋

辰巳 芳子 著

岩波書店

酒の肴づくりは、文化を生きる人間の、もつとも洗練された表現行為なのではないか。筍、卯の花、塩らっきょう。干物に田楽、菊、零余子。易しく作れる酒の肴を紹介しながら、カラー写真とともに、四季の口福を綴る随筆集。

2020:4./ 13p,196p

978-4-00-061405-4

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/05/24



ひとの住処〜1964-2020〜(新潮新書 848)

隈 研吾 著

新潮社

10 年間東京で干される間に地方各地で培ったのは「緑」と共生する次の建築だった。建築家・隈研吾が自分史を軸に、1964 年と 2020 年、2 つのオリンピックを通して、日本の過去と未来、そして人間と建築の関係を語る。

2020:2./ 203p

978-4-10-610848-8

本体 ¥740+税



産経新聞 2020/05/24



私は C-3PO

アンソニー ダニエルズ 著

世界文化社

SF 映画でもかまうものか。C-3PO を演じたい。映画「スター・ウォーズ」全 9 作すべてに出演した唯一の俳優アンソニー・ダニエルズが、撮影現場の裏側を赤裸々に語る。知られざる意外なエピソード満載。

2020:3./ 381p

978-4-418-20404-5

本体 ¥2,450+税



産経新聞 2020/05/24



教皇たちのローマ〜ルネサンスとバロックの美術と社会〜

石鍋 真澄 著

平凡社

教皇や教皇庁とはいかなるもので、教皇の都市ローマはいかに形成されていったのか。ルネサンス美術とバロック美術はいかにして生み出されたのか。サッコ・ディ・ローマとその後の都市建設、現在のローマの原点を論じる。

2020:3./ 366p

978-4-582-65210-9

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2020/05/24



神域<上>

真山仁 著

毎日新聞出版

脳細胞を蘇らせる人工万能幹細胞が誕生。日本政府は一刻も早い実用化を迫る。しかし、本当に再生細胞は安全なのだろうか…。バイオ・ビジネスの光と闇を描く医療サスペンス。『サンデー毎日』連載を加筆し書籍化。

2020:2./ 270p

978-4-620-10847-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/05/24



神域<下>

真山仁 著

毎日新聞出版

人工万能幹細胞の研究施設周辺では謎の失踪事件が頻発。真相を追う刑事はその全貌に戦慄する。<神の領域>に踏み込んだ者たちは…。バイオ・ビジネスの光と闇を描く医療サスペンス。『サンデー毎日』連載を加筆し書籍化。

2020:2./ 279p

978-4-620-10848-3

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/05/24



歌舞伎の101 演目解剖図鑑～イラストで知る見るわかる歌舞伎名場面～

辻 和子 著

エクスナレッジ

助六、忠臣蔵、義経千本桜、三人吉三…。名作・名場面が揃い踏み! 知っておきたい歌舞伎のイロハからあらすじも人間関係もわかる歌舞伎の演目事典まで。押さえておきたい歌舞伎用語事典や歌舞伎役者家系図なども掲載。

2020:4./ 214p

978-4-7678-2754-4

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/05/24



教科書抹殺～文科省は「つくる会」をこうして狙い撃ちした～

藤岡信勝 著

飛鳥新社

2019 年、自由社が発行する中学校教科書「新しい歴史教科書」が、文科省の検定に不合格となった。抹殺された教科書の著者たちが、自らの体験と事例に基づいて文科省の検定意見に反論し、教科書行政の異常さを明るみに出す。

2020:4./ 315p

978-4-86410-761-7

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/05/24



萩尾望都作画のひみつ(とんぼの本)

芸術新潮編集部 編

萩尾 望都 著

新潮社

「ポーの一族」「王妃マルゴ」…。繊細な画と豊かな文学性にあふれる萩尾望都。インタビューや原画などの豊富なビジュアルで創作の秘密に迫る。年代別画風の変遷や聖地巡礼マップ等も掲載。『芸術新潮』掲載を増補し単行本化。

2020:4./ 157p

978-4-10-602293-7

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2020/05/30



白土三平自選短編集～忍者マンガの世界～

白土 三平 著

平凡社

著者米寿を記念し、忍者マンガの短編傑作群をカラーで再現したプレミアムアンソロジー。未完の大作「カムイ伝」に先立ち描かれた忍者マンガの精髓を集成。描き下ろしスケッチ、インタビュー、夢枕獏エッセイなども収録する。

2020:4./ 447p

978-4-582-28827-8

本体 ¥3,200+税



産経新聞 2020/05/30



ストリートの美術～トゥオンブリからバンクシーまで～(講談社選書メチエ 724)

大山 エンリコイサム 著

講談社

バンクシーはなぜ匿名かつ有名なのか。ステンシルは何を可能にするのか。都市、地下鉄、路上の美学を考え、独自の表現を生む文化の背景を見つめ、横断的にストリートの感性を描く。

2020:4./ 281p

978-4-06-519518-5

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2020/05/31



三國連太郎、彷徨う魂へ

宇都宮 直子 著

文藝春秋

三國連太郎の人生は、彼の思うままだった。彼は役者である自身を、何より、誰より、熱烈に愛していた。役者としての自身を厳しく追求し続けた三國連太郎の生涯を描く。『オール讀物』掲載に書下ろしを加えて単行本化。

2020:4./ 212p

978-4-16-391192-2

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/05/31



いっつごうさぎのきっさてん(えほんのぼうけん 98)

まつおりかこ 著

岩崎書店

お店とお家がいっしょになったトラックにのって、いろんなところを旅するいっつごうさぎ。行く先々で手に入れた材料を使って、おいしいおやつを作り、喫茶店を開きます。今日はいちご畑にあらわれて…。ケーキのレシピ付き。

2020:2./ 33p

978-4-265-08168-4

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2020/05/31



動物の看護師さん～動物・飼い主・獣医師をつなぐ 6 つの物語～

保田 明恵 著

大月書店

動物看護師ってどんな仕事？ 動物、飼い主、獣医師、三者それぞれに寄り添い架け橋となって治療を進める動物看護師の仕事を、6 人の体験から鮮やかに描き出す。

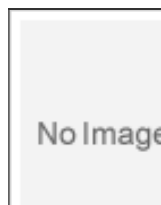
2020:3./ 222p

978-4-272-33098-0

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/05/31



石橋湛山評論集(ワイド版岩波文庫 5)

石橋湛山、松尾尊兌 著

岩波書店

明治 44 年から敗戦直後まで、『東洋経済新報』に健筆をふるった石橋湛山。普選問題、ロシア革命、3.1 運動、満州事変などについての論評どれをとっても、日本にはほとんど比類のない自由主義の論調に貫かれている。

1991:1./ 313p

978-4-00-007005-8

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2020/05/02



AX(角川文庫 い 59-3)

伊坂 幸太郎 著

KADOKAWA

「兜」は一流の殺し屋だが、家では妻に頭が上がらない恐妻家。引退を考えながらも爆弾職人を軽々と始末した兜は、意外な人物から襲撃を受け…。全 5 篇を収めた連作集。

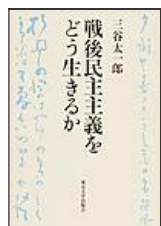
2020:2./ 374p

978-4-04-108442-7

本体 ¥680+税



朝日新聞 2020/05/02



戦後民主主義をどう生きるか

三谷 太一郎 著

東京大学出版会

歴史上の日本の民主主義は、すべて何らかの「戦後民主主義」であった。戦後 70 年を経てあらためて「戦後」の意味を問い、現代史の深みから日本の民主主義における個人の生き方について考える。

2016:9./ 5p,262p

978-4-13-003339-8

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2020/05/02



結婚してみることにした。～壇蜜ダイアリー 2～

壇蜜 著
文藝春秋

モモジトカゲのサチ子に、ナマケモノの浜平を迎え、食べる、眠る、ゆっくり泳ぐ、長めのサウナ…。そんな毎日から、いい夫婦の日に、結婚-。壇蜜が綴った 2018-2019 の日記。直筆メッセージも掲載。

2020:3./ 173p
978-4-16-391187-8
本体 ¥1,100+税

朝日新聞 2020/05/02



シェイクスピア&カンパニー書店の優しき日々(河出文庫 シ11-1)

ジェレミー・マーサー 著
河出書房新社

バリ、セヌ左岸の、ただで泊まれる本屋「シェイクスピア・アンド・カンパニー」は、貧しい作家や詩人たちに食事とベッドを提供する避難所。そこへ偶然住み着くこととなった元新聞記者がつづる、世にもまれな書店の物語。

2020:4./ 381p
978-4-309-46714-6
本体 ¥1,200+税

朝日新聞 2020/05/02



憲法解釈権力

蟻川 恒正 著
勁草書房

憲法制定権力(憲法を制定する権力)との類比で著者が仮設した概念、憲法解釈権力(憲法を解釈する権力)。権力が憲法に拘束される構造を徹底的に分析し、憲法秩序の意味をも変えられる憲法解釈権力について考察する。

2020:2./ 9p,310p
978-4-326-45121-0
本体 ¥3,000+税

朝日新聞 2020/05/02



ページをめくるとジャズが聞こえる～村井康司《ジャズと文学》の評論集 The Jazz You Read～

村井 康司 著
シンコーミュージック・エンタテイメント

村上春樹、フィッツジェラルド、ボリス・ヴィアン…。ジャズ評論家が、「文学の中のジャズ」を徹底的に掘り下げて、実際の音とともに熱く語る。462 曲分の Spotify プレイリストが聴ける QR コード付き。

2020:4./ 295p
978-4-401-64906-8
本体 ¥2,000+税

朝日新聞 2020/05/02



精神現象学<上>(ちくま学芸文庫 へ10-1)

G.W.F.ヘーゲル 著
筑摩書房

感覚的経験という最も身近な段階から、数知れぬ弁証法的過程を経て、最高次の「絶対知」へと至るまで、精神の遍歴を壮大なスケールで描き出す。西欧近代の高名な哲学者ヘーゲルの主著を平明な語り口で訳出。

2018:12./ 670p
978-4-480-09701-9
本体 ¥1,700+税

朝日新聞 2020/05/02



精神現象学<下>(ちくま学芸文庫 へ10-2)

G.W.F.ヘーゲル 著
筑摩書房

長大な遍歴のすえ、人間はいかにして「絶対知」へと到達するのか? 人類知の全貌を描いた、西欧近代の高名な哲学者ヘーゲルの主著を平明な語り口で訳出。「精神現象学」中の名言を集めたフレーズ索引も収録。

2018:12./ 623p
978-4-480-09702-6
本体 ¥1,700+税

朝日新聞 2020/05/02



在野研究ビギナーズ～勝手に始める研究生生活～

荒木 優太 著

明石書店

在野の研究者に資格はいらない。卒業後も退職後も、いつだって学問はできる！現役で活躍中の在野研究者たちが、研究生生活の実践と方法を、おのこの体験の中で論じる。

2019:9./ 286p

978-4-7503-4885-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/05/02



未完の時代～1960年代の記録～

平田 勝 著

花伝社

全学連委員長として目の当たりにした学生運動の高揚と終焉…。8年間にわたって1960年代の学生運動に従事した著者が、東大紛争裏面史と新日和見主義事件の真相を、50年の沈黙を破って明かす。

2020:4./ 203p

978-4-7634-0922-5

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/05/02



歩く江戸の旅人たち～スポーツ史から見た「お伊勢参り」～

谷釜 尋徳 著

晃洋書房

総歩行距離 2000 キロ以上の伊勢神宮への旅は、どのようにして可能となったのか。徒歩での旅を可能とした旅人の身体技法や装い、健脚を支えた街道の交通インフラやマナー、旅の家計簿等から、「お伊勢参り」の旅をひも解く。

2020:3./ 8p,198p

978-4-7710-3294-1

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2020/05/02



オーデュボンの鳥～『アメリカの鳥類』セレクション～

新評論

19世紀アメリカの鳥類研究家・画家オーデュボンによる全 435 点の手彩色版画集から 150 点を精選。コンパクトサイズ、オールカラーで複製し、鳥たちの実物写真をそえて、生態や保全状況の概要を解説する。

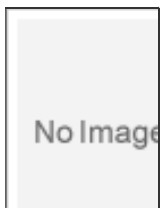
2020:4./ 210p

978-4-7948-1138-7

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/05/02



法制官僚の時代～国家の設計と知の歷程～

山室 信一 著

木鐸社

0

1999:3./ 458p

978-4-8332-0209-1

本体 ¥5,000+税



朝日新聞 2020/05/02



感情類語辞典

アンジェラ・アッカーマン、ベッカ・パグリッシ、滝本 杏奈 著

フィルムアート社

75 の感情について、その感情に由来する外的なシグナル、内的な感覚、精神的な反応などさまざまな反応(感情情報)を、人間の心理描写に活用可能な「類語」として紹介。発展形や書き手のためのヒントも掲載する。

2015:12./ 179p

978-4-8459-1584-2

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/05/02



同定の政治、転覆する声〜アルゼンチンの「失踪者」と日系人〜

石田智恵 著
春風社

1970年代、アルゼンチン軍事政権が生み出した大量の「失踪者」。その中には日本人移民の子どもたちがいた。死体なき「強制失踪」と、日常的な人種主義。日系失踪者とその親族たちの闘いを文化人類学的視点から描く。

2020:3./ 334p
978-4-86110-678-1
本体 ¥3,600+税

朝日新聞 2020/05/02



日本の路線図

宮田珠己／井上マサキ／西村まさゆき 著
三才ブックス

北海道から沖縄まで 47 都道府県の鉄道会社が公表・掲出している案内図を掲載する。一般的な路線図のほかに、運賃案内表や停車駅案内図、観光マップなども収録。

2020:3./ 215p
978-4-86673-188-9
本体 ¥2,500+税

朝日新聞 2020/05/02



天空のアリ植物〜見上げる森には不思議がいっぱい〜

盛口 満 著
八坂書房

教え子に誘われインドネシアのジャングル探検に出掛けた著者。そこには樹上でアリと共生する不思議なアリ植物など、多様性に満ちた世界が広がっていた。サブテマに教育を据えた生き物エッセイ。自筆イラストも掲載。

2020:2./ 278p
978-4-89694-270-5
本体 ¥1,900+税

朝日新聞 2020/05/02



ダイナソー・ブルース〜恐竜絶滅の謎と科学者たちの戦い〜

尾上 哲治 著
閑人堂

なぜ恐竜は消えたのか。6600 万年前の地球に何が起こったのか。きっかけは、ある老天才科学者の異端の仮説だった。地球最大級の「未解決事件」に探偵科学者たちが挑む、本格サイエンス・ノンフィクション。

2020:2./ 293p, 17p
978-4-910149-00-4
本体 ¥2,400+税

朝日新聞 2020/05/02



漂流(新潮文庫 か-89-1)

角幡 唯介 著
新潮社

1994 年 3 月、37 日間におよぶ漂流から「奇跡の生還」を果たした男がいた。だが 8 年後、彼は再び漁に出て、二度と戻らなかった。なぜまた海へ向かったのか。沖縄の漁師の生き様を追った長編ノンフィクション。

2020:4./ 683p
978-4-10-101951-2
本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2020/05/02、読売新聞 2020/05/03



彼女の体とその他の断片

カルメン・マリア・マチャド、小澤 英実、小澤 身和子、岸本 佐知子、松田 青子 著
エトセトラブックス

首にリボンを巻いている妻の秘密、セックスをリスト化しながら迎える終末、食べられない手術を受けた体、消えゆく女たちが憑く先は…。身体に新しいことばを与える作家が、クィアでストレンジな女たちを描いた短篇集。

2020:3./ 357p
978-4-909910-04-2
本体 ¥2,400+税

朝日新聞 2020/05/02、読売新聞 2020/05/10、毎日新聞 2020/05/23



文明史から見たトルコ革命～アタテュルクの知的形成～

M・シュクリュ・ハーニオール 著

みすず書房

イスラム圏初の世俗国家を建設したアタテュルク。近代西洋の理念に則る建国という
壮大な社会実験は、成功したのか？ 西洋と東洋の狭間から歴史を読み直す。現代ト
ルコの起源を知るための必読書。

2020:3./ 249p,55p

978-4-622-08885-1

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2020/05/02、読売新聞 2020/05/17



時代劇入門(角川新書 K-308)

春日 太一 著

KADOKAWA

知識ゼロから時代劇を楽しむための入門書。歴史、名優、監督、ヒーローなど、重要
なキーワードとジャンルの全体像がわかる。特別インタビュー「富野由悠季監督が語
るチャンバラ演出の極意」も収録。

2020:3./ 367p

978-4-04-082263-1

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/05/09



つげ義春日記(講談社文芸文庫 つ K1)

つげ 義春 著

講談社

昭和 50 年代、漫画家つげ義春は自作漫画が次々と文庫化され、人気を博す。一方
で、将来への不安、育児の苦労、妻の闘病と自身の不調など、人生の尽きせぬ悩み
に向き合う日々を、私小説さながらにユーモア漂う文体で綴る。

2020:3./ 374p

978-4-06-519067-8

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/05/09



暗い林を抜けて

黒川 創 著

新潮社

京都での学生時代、駆け出し記者だった頃の結婚、10 年後の離婚。新たな家庭で
40 過ぎに初の子をもうけ、50 を前に病を得た通信社記者の過去と現在。ままならな
い人生のほのかな輝きを描く長篇小説。『新潮』掲載を書籍化。

2020:2./ 254p

978-4-10-444410-6

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2020/05/09



暮しの数学(中公文庫 や 73-1)

矢野 健太郎 著

中央公論新社

数学は暮しのあちこちに生きている。日本流と外国流の数の数え方、英語、絵や音楽
など、暮らしと数学の関係を知れば、世の中の見え方も少し変わるかもしれない。論理
的思考法が身に付く 12 の数学レッスン。

2020:4./ 243p

978-4-12-206877-3

本体 ¥800+税



朝日新聞 2020/05/09



喫茶店の時代～あのことこんな店があった～(ちくま文庫 は 51-1)

林 哲夫 著

筑摩書房

作家・芸術家たちが集った喫茶店。そのはじまりから、明治、大正、昭和の変遷と、時
代を彩ったカフェーを、さまざまな資料とともにふり返る。時代と喫茶店文化のコレク
ション。

2020:4./ 371p,26p

978-4-480-43645-0

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2020/05/09



トマス・ジェファソン～権力の技法～<上>

ジョン・ミーチャム 著

白水社

アメリカ独立宣言を起草し、第三代大統領として民主主義の原理を作り、「建国の父」と称されるトマス・ジェファソンの本格的な伝記。上は、幼少期からヴァージニア州知事、フランス公使を経て、初代国務長官に至るまでを収録。

2020:2./ 384p,101p

978-4-560-09742-7

本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2020/05/09



トマス・ジェファソン～権力の技法～<下>

ジョン・ミーチャム 著

白水社

アメリカ独立宣言を起草し、第三代大統領として民主主義の原理を作り、「建国の父」と称されるトマス・ジェファソンの本格的な伝記。下は、野党党首からアメリカ大統領になり、ヴァージニア大学を創設し、永眠するまでを収録。

2020:3./ 365p,129p

978-4-560-09743-4

本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2020/05/09



流行性感冒～「スペイン風邪」大流行の記録～(東洋文庫)

内務省衛生局 著

平凡社

1918 年から 20 年にかけて世界中で猛威をふるった史上最悪の感染症、スペイン・インフルエンザ。日本におけるその流行の状況、予防、病理等をつぶさに記録した貴重な調査報告書。

2008:9./ 454p

978-4-582-80778-3

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2020/05/09



禅ってなんだろう?～あなたと知りたい身心を調えるおしえ～(中学生の質問箱)

石井 清純 著

平凡社

坐ると何が変わるの? 禅がいま世界で注目されるのはなぜ? 素朴な質問に答えるかたちで、禅の思想と実践の基本を解説する。「マインドフルネス」の原点に迫る書。

2020:3./ 221p

978-4-582-83834-3

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/05/09



史上最悪のインフルエンザ～忘れられたパンデミック～

アルフレッド・W.クロスビー 著

みすず書房

少なく見積もっても 2500 万人以上の死者を出したといわれる、1918-19 年のインフルエンザ、通称「スペインかぜ」。社会・政治・医学史にまたがる史上最大規模の疫禍の全貌を明らかにする。

2009:1./ 435p,55p

978-4-622-07452-6

本体 ¥4,400+税



朝日新聞 2020/05/09



保健室のアン・ウニョン先生(チョン・セランの本 01)

チョン・セラン 著

亜紀書房

養護教諭のアン・ウニョンが赴任した私立高校では、原因不明の怪奇現象や不思議な出来事がつぎつぎと巻き起こる。霊能力を持つ彼女は BB 弾の銃とレインボーカラーの剣を手に、さまざまな謎や邪悪なものたちに立ち向かうが...

2020:3./ 299p

978-4-7505-1636-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/05/09



中世考古<やきもの>ガイドブック～中世やきものの世界～

浅野 晴樹 著

新泉社

博物館で展示されている、遺跡から出土した<やきもの>。それらは実際に当時の食生活を中心とする日常生活を支えた道具であった。中世のやきものの素朴な疑問に答えるような情報をおとして、中世社会の“生の実態”を伝える。

2020:4./ 154p 図版

16 枚

978-4-7877-2006-1

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/05/09



豚インフルエンザ事件と政策決断～1976 起きなかった大流行～

リチャード・E.ニュースタット、ハーヴェイ・V.ファインバーグ 著

時事通信社

専門家はいかに判断し、政策者は何を決断すべきか。1976 年に米国のフォード政権下で起きた「豚インフルエンザ事件」について、行政内部の意思決定の過程を詳細に検証し、将来への教訓を示す。

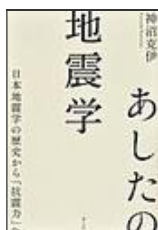
2009:10./ 439p

978-4-7887-0969-0

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2020/05/09



あしたの地震学～日本地震学の歴史から「抗震力」へ～

神沼 克伊 著

青土社

はたして地震を予知することは可能なのか。日本地震学の歴史をつぶさにひもとき、実際に経験したことから、専門家のあるべき姿と、どのように地震と向き合うべきかを、第一人者が考察する。

2020:3./ 238p

978-4-7917-7259-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/05/09



明治維新を問い直す～日本とアジアの近現代～(地球社会ライブラリ 1)

マシュー・オーガスティン 編

九州大学出版会

明治維新と呼ばれるものは、一体何であったのか? 時代や場所によって異なる意味を持つ明治維新を、「物語」「革命」「近代化」という3つの視点から問い直す。

2020:4./ 222p

978-4-7985-0286-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/05/09



すごい工場～売上右肩上がり!有休取得率 95%!新卒採用も楽々!～

出口 弘親 著

あさ出版

愛知県大府市で鋼材の加工・販売を行う「スチールテック」。見学者の 8 割が取引を希望するという「すごい工場」は、なぜすごいのか? 工場なのにピカピカ、日本で唯一の技術&生産体制など、その具体的な仕組みを解説する。

2019:3./ 205p

978-4-86667-126-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/05/09



日本を襲ったスペイン・インフルエンザ～人類とウイルスの第一次世界戦争～

速水 融 著

藤原書店

関東大震災の 5 倍近くの死者をもたらしながら、「スペイン風邪」と称され、被害の実態も十分に把握されないまま忘却された、90 年前の史上最悪の「新型インフルエンザ」について、各種資料を駆使し、その詳細を明かす。

2006:2./ 474p

978-4-89434-502-7

本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2020/05/09



北大総合博物館のすごい標本

北海道大学総合博物館 編
北海道新聞社

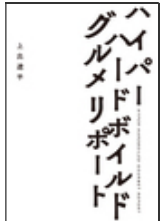
収蔵標本数 300 万点、うち 1 万 3 千点が世界に 1 つしかない「タイプ標本」である北大総合博物館。植物から恐竜まで 10 分野から厳選した 100 の標本をカラー写真で紹介するほか、博物学者列伝、関連年表も収録する。

朝日新聞 2020/05/09

2020:3./ 239p

978-4-89453-974-7

本体 ¥2,300+税



ハイパーハードボイルドグルメリポート

上出遼平 著

朝日新聞出版

食うこと、すなわち生きること。リベリアの人食い少年兵の廃墟飯、台湾マフィアの贅沢中華、ケニアのゴミ山スカベンジャー飯など、ヤバい世界で生きる人々の飯をリポートする。テレビ東京の同名番組を書籍化。

朝日新聞 2020/05/09、読売新聞 2020/05/24

2020:3./ 521p

978-4-02-251674-9

本体 ¥1,800+税



<あの絵>のまえで〜 A Piece of Your Life〜

原田 マハ 著

幻冬舎

ゴッホ、ピカソ、セザンヌ、クリムト、東山魁夷、モネ。人生の脇道に佇む人々が<あの絵>と出会い、再び歩き出す…。アート小説の名手による極上の小説集。『小説幻冬』掲載を単行本化。

朝日新聞 2020/05/09、日本経済新聞 2020/05/09

2020:3./ 193p

978-4-344-03580-5

本体 ¥1,400+税



若山牧水歌集 改版(岩波文庫 緑 52-1)

若山牧水、伊藤一彦 著

岩波書店

若山牧水は 23 歳で、今日でも多くの人々に愛誦される名歌を詠んだ。以後 20 年、旅の歌人牧水は、平易で親しみやすい、しかも人間と人生の根幹にふれて共感を呼ぶ、数々の秀歌をのこした。

朝日新聞 2020/05/16

2004:12./ 362p

978-4-00-310521-4

本体 ¥810+税



有権者って誰?(岩波ジュニア新書 917)

藪野 祐三 著

岩波書店

どうせ私の一票では政治は変わらない。そんな思いを抱く若い世代に向けて、選挙のしくみや意義をわかりやすく解説します。有権者とはどんな存在なのか、社会に参加するとはどういうことなのかを考えます。

朝日新聞 2020/05/16

2020:4./ 9p,150p

978-4-00-500917-6

本体 ¥800+税



ひこばえ<上>

重松清 著

朝日新聞出版

洋一郎が 2 年生の時に家を出て行った父親。郊外の街で一人暮らしを続けた末に亡くなった父親は、生前に 1 冊の「自分史」をのこそうとしていた。洋一郎は父親の人生に向き合うことを決意するが…。『朝日新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2020/05/16

2020:3./ 373p

978-4-02-251671-8

本体 ¥1,600+税





ひこばえ<下>

重松清 著

朝日新聞出版

我が父親はどんな父親になりたかったのだろうか？ 父親の知人たちから拾い集めた記憶と、自身の内から甦る記憶に満たされた洋一郎は、父を巡る旅の終わりに、ひとつの決断をする。『朝日新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2020/05/16

2020:3./ 345p

978-4-02-251672-5

本体 ¥1,600+税



暗手(角川文庫 は21-14)

馳 星周 著

KADOKAWA

八百長に手を染め殺しを重ねた加倉は、逃れたイタリアで何でも屋「暗手」として生きていた。サッカー賭博の帝王・王天からの依頼は、プロリーグ、ロッキオ所属の日本人ゴールキーパー・大森に八百長をさせろというものだった…。

朝日新聞 2020/05/16

2020:4./ 502p

978-4-04-109128-9

本体 ¥900+税



バクちゃん<1>(ビームコミックス)

増村 十七 著

KADOKAWA

移民バクちゃんの「すこし不思議」で「すこしリアル」なダイバーシティ物語。永住をめざし賢明に生きるバクちゃんの目にうつる東京は、わたしたち「みんな」の世界かも。

朝日新聞 2020/05/16

2020:5./ 192p

978-4-04-736081-5

本体 ¥740+税



2020 年 6 月 30 日にまたここで会おう～瀧本哲史伝説の東大講義～(星海社新書 160)

瀧本 哲史 著

星海社

君たちは自分の力で、世の中を変えていけ！ 2019 年に病のため夭逝した瀧本哲史。ずっと若者世代である「君たち」に向けてメッセージを送り続けてきた彼の思想を凝縮した「伝説の東大講義」を一冊にまとめる。

朝日新聞 2020/05/16

2020:4./ 219p

978-4-06-519428-7

本体 ¥980+税



北澤楽天と岡本一平～日本漫画の二人の祖～(集英社新書 1019)

竹内 一郎 著

集英社

手塚治虫以前、日本漫画の源流となった男たちとは。キャラクター作りの名人・北澤楽天と、ストーリー漫画の原型を生んだ岡本一平。二人の足跡と、手塚までの日本漫画史を描く。

朝日新聞 2020/05/16

2020:4./ 187p

978-4-08-721119-1

本体 ¥820+税



遠野物語(新潮文庫 や-15-1)

柳田 国男 著

新潮社

雪女、天狗、オシラサマ、オクナイサマ、ザシキワラシ…。遠野郷の伝説を流麗な文体で綴った、柳田国男の愛と情熱が行間にあふれる民俗洞察の名著。山本健吉、吉本隆明、三島由紀夫による解説も収録。折り込みの地図付き。

朝日新聞 2020/05/16

2016:6./ 158p

978-4-10-104706-5

本体 ¥430+税





神になった日本人～私たちの心の奥に潜むもの～(中公新書ラクレ 687)

小松 和彦 著

中央公論新社

古来、日本人は実在した人物を、死後、神として祀り上げることがあった。空海、平将門、崇徳院、徳川家康、西郷隆盛…。11人の「神になった日本人」に託された思いを探りながら、日本人の奥底に流れる精神を考える。

2020:5./ 277p

978-4-12-150687-0

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/05/16



戦後「社会科学」の思想～丸山眞男から新保守主義まで～(NHK ブックス 1261)

森 政稔 著

NHK出版

学問の境界を越えて展開し時代をリードした社会科学に着目。戦後の4つの時期を設定して、それぞれの主題的な時期区分において、社会科学がどのように自分たちに時代を「現代」としてその新しさを見出したかをたどる。

2020:3./ 302p

978-4-14-091261-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/05/16



留萌本線、最後の事件～トンネルの向こうは真っ白～(ハヤカワ文庫 JA 1430)

山本 巧次 著

早川書房

廃線前の撮りおさめのため、北海道・留萌本線に乗車した鉄道ファンの浦本。だが発車後まもなくハイジャック事件に巻き込まれ、車内に閉じ込められてしまう。犯人はなぜか道議員を交渉役に指名し、半端な身代金を要求するが…。

2020:4./ 318p

978-4-15-031430-9

本体 ¥720+税



朝日新聞 2020/05/16



別役実<1> 壊れた風景/象(ハヤカワ演劇文庫)

別役 実 著

早川書房

0

2007:7./ 253p

978-4-15-140010-0

本体 ¥800+税



朝日新聞 2020/05/16



ザシキワラシと婆さま夜語り～遠野のむかし話～

佐々木 喜善 著

河出書房新社

柳田国男の名作「遠野物語」に材料を提供した佐々木喜善。遠野に生まれ暮らした喜善が残した、もうひとつの遠野物語「老嫗夜譚」百余話と、「奥州のザシキワラシの話」を、現代仮名遣いで収録する。

2020:4./ 276p

978-4-309-02881-1

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/05/16



孤独を生き抜く哲学

小川 仁志 著

河出書房新社

本当の幸福は孤独の中でしか得られない。元ひきこもりの哲学者が、孤独の効用や世界の偉人たちの愛した孤独を紹介し、一人で過ごす時間を前向きで有意義なものにするコツを、具体的に伝授する。

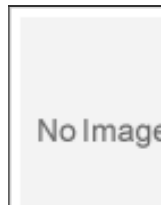
2020:4./ 238p

978-4-309-24957-5

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/05/16



木に花咲く〜別役実戯曲集〜

別役実 著
三一書房
0

1981:5./ 242p
978-4-380-81281-1
本体 ¥1,300+税

朝日新聞 2020/05/16



古代史講義<宮都篇>(ちくま新書 1480)

佐藤 信 編
筑摩書房

日本古代の代表的宮都を、飛鳥の宮々から難波宮、平城京、平安京、太宰府、平泉に至るまで紹介。最新の調査結果と研究を紹介しつつ、宮都の実像を叙述し、各時代の社会的背景となる古代都市のあり方をも明らかにする。

2020:3./ 301p
978-4-480-07300-6
本体 ¥920+税

朝日新聞 2020/05/16



修道女の薔薇(創元推理文庫 M才 4-16)

キャロル・オコンネル 著
東京創元社

修道女と彼女の甥と思われる盲目の少年が姿を消した。数日後、修道女は市長官邸の正面階段下に置かれた死体の中にいた。一方少年は、ある男のもとに囚われていて…。氷の天使マロリーが、非情な誘拐犯に挑む。

2020:3./ 555p
978-4-488-19520-5
本体 ¥1,480+税

朝日新聞 2020/05/16



美しき小さな雑草の花図鑑

大作 晃一、多田 多恵子 著
山と溪谷社

庭や道端など身近な場所に生えているにも関わらず、目もくれずに通り過ぎてきた雑草。手を伸ばし、目を近づけて見ると…。美しく繊細で、個性豊かな雑草の花を、色別に拡大写真で紹介する。

2018:2./ 168p
978-4-635-55012-3
本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2020/05/16



美し、をかし、和名由来の江戸鳥図鑑

田島 一彦 著
パイインターナショナル

江戸時代の博物画の中でも写実性と繊細で美しい筆致で評価の高い毛利梅園の「梅園禽譜」から 86 点の鳥を厳選。春、夏、秋、冬、飼い鳥、家禽の章に分けて掲載し、解説する。

2020:3./ 209p
978-4-7562-5321-7
本体 ¥2,800+税

朝日新聞 2020/05/16



身近な鳥のすごい食生活〜カラー版〜(イースト新書 Q Q064)

唐沢孝一 著
イースト・プレス

「軽量化」が生きる術である鳥類の食生活は、工夫と策略に満ちている。都市の鳥と自然を長年観察しつづけた著者が、スズメ、ツバメ、メジロ、トビなど身近な鳥の生態を、食生活を切り口に豊富な写真とともに解説する。

2020:3./ 191p
978-4-7816-8064-4
本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2020/05/16



幸せに気づく世界のことば

メーガン・C・ヘイズ 著
フィルムアート社

幸せの秘密を探して世界の「翻訳できない」言葉を巡る旅へ。デンマーク語の「ヒュッゲ」や英語の「ウィムジー」など、世界中から集めたよりよく生きるためのヒントに満ちた言葉を通じて、さまざまな幸せのかたちを描く。

2020:3./ 149p
978-4-8459-1931-4
本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2020/05/16



骨の髄～甲斐啓二朗写真集～

甲斐 啓二朗 著
新宿書房

肉と肉がぶつかり合う格闘のプロトタイプを追って、イングランド、秋田美郷、ボリビア、長野野沢温泉、そしてジョージアへ。世界各地で伝統的に行われている格闘的な祭事を撮影した写真集。

2020:3./ 129p
978-4-88008-481-7
本体 ¥5,300+税

朝日新聞 2020/05/16



近代朝鮮の政治文化と民衆運動～日本との比較～

趙 景達 著
有志舎

朝鮮の儒教的政治文化はいかなるものであり、それがどのように民衆世界に浸透しつつ民衆運動のあり方を規定したのか。「近代」と格闘し続けた朝鮮社会と民衆の姿を、日本と比較しつつ明らかにする。

2020:3./ 8p,423p,4p
978-4-908672-38-5
本体 ¥7,800+税

朝日新聞 2020/05/16



地域アートはどこにある？

十和田市現代美術館 編
小川 希／金澤 韻 著
堀之内出版

地域で起こる表現活動は誰のものか、それを「地域アート」と呼ぶべきなのか。関係者・アーティスト・住民によるトークと、十和田市現代美術館の展覧会「ウソから出た、まこと」の記録から探る。小説「嶋タケシ」も収録。

2020:3./ 238p
978-4-909237-47-7
本体 ¥3,500+税

朝日新聞 2020/05/16



使ってはいけない言葉

忌野 清志郎 著
百万年書房

「もっとさ、普段しゃべってることをうたっちゃえばいいんだよね」キヨシローの残した古びないメッセージを、著作、出演雑誌、ライブ MC などから網羅的に収集する。忌野清志郎デビュー50周年記念企画。

2020:5./ 223p
978-4-910053-14-1
本体 ¥1,300+税

朝日新聞 2020/05/16



昭和の名騎手

江面 弘也 著
三賢社

天才、名人、闘将、鉄人、剛腕、名手…。昭和競馬は、騎手と馬が対になって甦る。福永洋一、武邦彦、加賀武見、増沢末夫、郷原洋行、岡部幸雄ら、往年の名騎手 30 人の騎手人生を追う。

2020:4./ 259p
978-4-908655-16-6
本体 ¥980+税

朝日新聞 2020/05/16、産経新聞 2020/05/31



贖罪～ナチス副総統ルドルフ・ヘスの戦争～

吉田 喜重 著
文藝春秋

ソ連侵攻を抑えた 1941 年 5 月 10 日、ヒトラーの代理人ヘスは、イギリスとの講和工
作のためスコットランドへ。しかしそれを知ったヒトラーは激怒し、チャーチルはとりあわ
ず…。ナチス副総統ヘスの生涯を描く歴史大作小説。

2020:4./ 349p
978-4-16-391099-4
本体 ¥3,000+税

朝日新聞 2020/05/16、東京・中日新聞 2020/05/23



たまたまザイール、またコンゴ

田中 真知 著
偕成社

丸木舟で下り、輸送船でもみくちやになりながら、過酷な日々の中で見たものとは-。
アフリカ中央部のジャングルを流れるコンゴ河(ザイール河)を、1991 年と 2012 年の 2
度、船で下った道中記。見返しにイラストあり。

2015:6./ 303p
978-4-03-003420-4
本体 ¥2,300+税

朝日新聞 2020/05/23



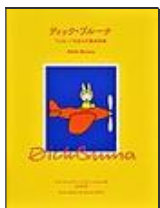
からころも～万葉集歌解き譚～(小学館文庫 小学館時代小説文庫 Jし 01-1)

篠 綾子 著
小学館

薬種問屋・伊勢屋の小僧、助松は、行方不明となった父から日記を預かっていた。綴
られていた万葉集の和歌の意味を伊勢屋の娘・しづ子から教わるが、今度はしづ子
が家を出てしまう。そして父としづ子の失踪には関係があった…。

2020:5./ 311p
978-4-09-406772-9
本体 ¥700+税

朝日新聞 2020/05/23



ディック・ブルーナ ～“ミッフィー”を生んだ絵本作家～

ブルース・イングマン／ラモーナ・レイヒル 著
河出書房新社

“ミッフィー”はどうやって生まれたの？ 世界中で愛されるキャラクター“ミッフィー”を生
んだディック・ブルーナ。彼の仕事と生涯を、イギリスの絵本研究者が丹念にたどる。ミ
ッフィー誕生 65 周年記念出版。

2020:4./ 110p
978-4-309-29070-6
本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2020/05/23



御城の事件<東日本篇>(光文社文庫 光文社時代小説文庫 に 18-10)

二階堂 黎人 編
霞 流一／高橋 由太 著

光文社

夜ごと、江戸城大奥で赤子の泣き声がするという。解決を命じられた伊賀組の若者を
待ち受ける運命は…。高橋由太「大奥の幽霊」をはじめ、東日本各地の城を舞台に、
山田彩人ら気鋭のミステリー作家が競作。全 5 編を収録。

2020:3./ 367p
978-4-334-77982-5
本体 ¥880+税

朝日新聞 2020/05/23



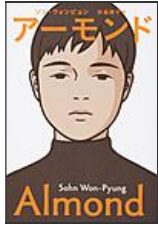
御城の事件<西日本篇>(光文社文庫 光文社時代小説文庫 に 18-11)

二階堂黎人／安萬純一／岡田秀文／黒田研二／森谷明子 著
光文社

三方を海や川に守られた船上城で、客人が怪死を遂げた。なぜ水のない場所で溺れ
死んだのか？ 名将・高山右近が解明に乗り出し…。西日本各地の城を舞台にミステリ
ー作家が競作。森谷明子「ささやく水」など全 5 編を収録する。

2020:4./ 384p
978-4-334-79012-7
本体 ¥880+税

朝日新聞 2020/05/23



アーモンド

ソン ウォンピョン、矢島 暁子 著
祥伝社

アーモンド(扁桃体)が人より小さく、怒りや恐怖を感じるできないエンジェ。彼の前にもうひとりの“怪物”が現れて…。他人の感情がわからない少年と、物心もつかないうちに親とはぐれた不良少年、2人の成長物語。

朝日新聞 2020/05/23

2019:7./ 267p

978-4-396-63568-8

本体 ¥1,600+税



図説モネ「睡蓮」の世界

安井 裕雄 著
創元社

印象派の巨匠モネは、なぜ「睡蓮」に後半生を捧げたのか？ 最初期の作品から晩年の大装飾画まで、生々流転する「睡蓮」の真実を、モネ研究の碩学が解き明かす。すべての「睡蓮」と関連作を集め、全 308 作品を完全収録。

朝日新聞 2020/05/23

2020:4./ 191p

978-4-422-71019-8

本体 ¥3,400+税



医者が教えるサウナの教科書～ビジネスエリートはなぜ脳と体をサウナでととのえるのか？～

加藤 容崇 著
ダイヤモンド社

サウナで最強効果を出すための正しい入り方を、医学的見地をもとに解説。サウナの科学、目的別の入り方、日常生活へのサウナの取り入れ方、サウナドクターへのQ&A も収録。全国おすすめサウナも収録。

朝日新聞 2020/05/23

2020:3./ 223p

978-4-478-11031-7

本体 ¥1,400+税



教養の書

戸田山 和久 著
筑摩書房

教養とはそもそも何か。なぜ大切なのか。教養への道をさえぎるものは何であり、その道を進むためにどんな装置が必要なのか。学び生きるうえで大切なすべてを伝える入門講義。『ちくま』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2020/05/23

2020:2./ 414p

978-4-480-84320-3

本体 ¥1,800+税



薫大将と匂の宮(創元推理文庫 M お 12-1)

岡田 鯨彦 著
東京創元社

千年に亘り未完とされる「源氏物語」の“その後”。美しき姫君たちの死の真相は-。推理作家にして古典文学者の岡田鯨彦のみが書き得た長編の表題作に、短編やエッセイを併録した王朝推理傑作選。

朝日新聞 2020/05/23

2020:3./ 364p

978-4-488-40421-5

本体 ¥1,000+税



ビジュアル資料でたどる文豪たちの東京

日本近代文学館 編
勉誠出版

夏目漱石、森?外、川端康成...日本を代表する文豪たちは、東京のどこに住み、どんな生活を送っていたのか。東京を舞台とした作品紹介のほか、当時の貴重な資料と100枚を超える写真も掲載し、文豪たちの生きた東京を探す。

朝日新聞 2020/05/23

2020:4./ 313p

978-4-585-29163-3

本体 ¥2,800+税





新敬語「マジヤバイっす」～社会言語学の視点から～

中村 桃子 著

現代書館

「そうっすね」「マジっすか」など、ヤンキー、ガテン系、体育会系の若者ことばといわれる「っす」言葉。日常会話からメディアまで、この言葉の使われ方を分析し、その形成過程と変化していく社会的意味づけを探る。

2020:3./ 221p

978-4-7684-7979-7

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/05/23



音楽文化戦時・戦後～ナショナリズムとデモクラシーの学校教育～

河口道朗 著

社会評論社

戦時ナショナリズムから戦後民主化の時期にかけて変質する音楽教育の流れを分析。著者自身の戦争体験をもとに、社会の右傾化する思考の広がり音楽の視点から冷静な判断材料を示す。『音楽教育史研究』連載に加筆し単行本化。

2020:4./ 279p

978-4-7845-1748-0

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/05/23



ダリエン地峡決死行(わたしの旅ブックス 013)

北澤 豊雄 著

産業編集センター

反政府ゲリラや右派民兵組織が入り乱れ、戦闘を繰り返しているコロンビアとパナマの国境地帯、ダリエン地峡。武器や麻薬の密売ルートでもある危険すぎるジャングル地帯の踏破に挑んだ男の冒険ノンフィクション。

2019:6./ 327p

978-4-86311-231-5

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2020/05/23



ドキュメンタリー作家王兵～現代中国の叛史～

土屋 昌明／鈴木 一誌／文海／樋口裕子／山根貞男／藤井仁子／劉文兵／中山大樹／山口俊洋 著

ポット出版プラス

2007 年公開の映画「鳳鳴 中国の記憶」を 3 人の批評家が徹底討論。和鳳鳴の語りにこめられた中国現代の「叛史」を読みとり、ドキュメンタリー作家・王兵の全仕事を眺望する。王兵インタビュー、フィルモグラフィも収録。

2020:4./ 318p

978-4-86642-011-0

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2020/05/23



日本の中のインド亜大陸食紀行

小林 真樹 著

阿佐ヶ谷書院

インド、ネパール、バングラデシュ、パキスタン…。北は北海道から南は沖縄まで、リアルなインドとその周辺世界への旅では味わうことのできない、日本国内におけるインド周辺の「食」世界の一端を案内する。

2019:5./ 319p

978-4-9907986-1-1

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/05/23



校歌の誕生

須田 珠生 著

人文書院

学校が校歌を持つことは当たり前となっているが、明治以来現在まで、校歌を作ることと定めた法規は存在しない。なぜ作成に手間を要する校歌がこれほど普及したのか。膨大な史料を読み解き、校歌の起源と展開に丹念に迫る。

2020:3./ 220p

978-4-409-52082-6

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2020/05/23、日本経済新聞 2020/05/23



いわずにおれない(集英社 be 文庫)

まど みちお 著
集英社
0

2005.12./ 191p
978-4-08-650101-9
本体 ¥700+税

朝日新聞 2020/05/30



ドラえもん<0>(てんとう虫コミックス)

藤子・F・不二雄 著
小学館

誕生 50 周年にちなみ、全 6 種類の「ドラえもん」第 1 話を初出バージョン&完全カラーで収録。貴重な写真と資料でおくる巻末解説も充実!

2019.12./ 134p
978-4-09-143156-1
本体 ¥700+税

朝日新聞 2020/05/30



ドラえもん～大長編～<1>(藤子・F・不二雄大全集 第2期)

藤子・F・不二雄 著
小学館

藤子・F・不二雄が描いたまんがを、掲載された雑誌ごとに分類して収録した大全集。大長編ドラえもん 1 は、「のび太の恐竜」「のび太の宇宙開拓史」「のび太の大魔境」の 3 作品ほか小原乃梨子による解説などを収録。

2010.9./ 619p
978-4-09-143438-8
本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2020/05/30



みすゞと雅輔(新潮文庫 ま-59-1)

松本 侑子 著
新潮社

なぜ金子みすゞは自殺したか。大正ロマンと昭和モダンの時代を生きた詩人の光と影。実弟・上山雅輔の膨大な日記を読み解き、みすゞの童謡と生涯、二人の青春と愛憎、別れを、弟の目を通して描く、画期的伝記小説。

2020.5./ 527p
978-4-10-101991-8
本体 ¥900+税

朝日新聞 2020/05/30



完本 小林一茶(中公文庫 い 35-24)

井上 ひさし 著
中央公論新社

消失した大金をめぐる推理劇は、思いがけない趣向のどんでん返しを迎え…。何重にも施された仕掛けによって、おかしく哀しく敬虔に俳人一茶の半生を描いた傑作戯曲。エッセイや著者選「一茶百句」、金子兜太との対談等も収録。

2020.3./ 301p
978-4-12-206847-6
本体 ¥900+税

朝日新聞 2020/05/30



幸福な監視国家・中国(NHK 出版新書 595)

梶谷 懐、高口 康太 著
NHK出版

習近平体制下で、政府・大企業が全人民の個人情報・行動記録を手中に収めているが、その監視社会に中国人のほとんどが不満を抱いていない。それはなぜか。気鋭の経済学者とジャーナリストが中国のいまを多角的に掘り下げる。

2019.8./ 254p
978-4-14-088595-6
本体 ¥850+税

朝日新聞 2020/05/30



アンチ・オイディプス～資本主義と分裂症～<上>(河出文庫)

ジル・ドゥルーズ、フェリックス・ガタリ 著

河出書房新社

0

朝日新聞 2020/05/30

2006:10./ 409p

978-4-309-46280-6

本体 ¥1,200+税



われら(光文社古典新訳文庫 KA サ 4-1)

ザミャーチン 著

光文社

いまから 1000 年後、地球全土を支配下に収めた<単一国>では、各人の行動はすべて合理的に管理されている。その国家的偉業となる宇宙船の建造技師は、古代の風習に傾倒する女に執拗に誘惑され…。ディストピア小説の傑作。

朝日新聞 2020/05/30

2019:9./ 389p

978-4-334-75409-9

本体 ¥1,060+税



誰にも言わないと言ったけれど～黒人神学と私～

James H. Cone 著

新教出版社

黒人解放の神学の泰斗、ジェイムズ・H.コーン。過酷な人種差別の経験、黒人神学者としての使命と苦難から、キング牧師やマルコム X、ジェイムズ・ボールドウィンら先人への思いまで、その人生の全てを明かす最期の書。

朝日新聞 2020/05/30

2020:3./ 278p

978-4-400-32357-0

本体 ¥3,000+税



広島復興の戦後史～廃墟からの「声」と都市～

西井 麻里奈 著

人文書院

廃墟からの「復興」が唱えられるとき、聞こえなくなる声がある。広島戦災復興土地区画整理事業における各種の立退きについて、住民が行政に対し異議申立てを行った陳情書などをもとに考察。広島戦後復興を捉えなおす。

朝日新聞 2020/05/30

2020:4./ 378p

978-4-409-24129-5

本体 ¥4,500+税



こちら、苦手レスキューQQQ!

小島ケイタニーラブ 著

白水社

歯医者、かさぶた、読書感想文…。人が苦手とする「モノ」たちの心の声や事情を、「苦手レスキュー」の隊員たちが歌とともに伝える。ギクシャクしがちな現代を生きる人に贈る本。歌を聴ける QR コード付き。見返しに情報あり。

朝日新聞 2020/05/30

2020:3./ 139p

978-4-560-09734-2

本体 ¥1,700+税



監視大国アメリカ

アンドリュー・ガスリー・ファーガソン、大槻 敦子 著

原書房

ネットワーク分析、人工知能、ビッグデータ…。あなたの行動は把握されている。アメリカのビッグデータ警察活動における新技術の発展について説明し、データ駆動型警察活動がもたらす歪んだ影響を暴き出す。

朝日新聞 2020/05/30

2018:2./ 333p

978-4-562-05483-1

本体 ¥2,400+税





世界幻妖図鑑～ドラゴンから妖怪<YOKAI>まで～

フロールチェ・ズウィヒトマン 著
フレーベル館

灼熱の炎を吐くドラゴン、翼をもつ天馬ペガサス、百鬼夜行をゆく日本の妖怪たち...。伝説や神話のなかの、まぼろしの生き物=幻妖。世界中に伝わる 78 の幻妖の謎と不思議を、圧巻のイラストレーションとともに紹介する。

2020:3./ 91p
978-4-577-04849-8
本体 ¥2,980+税



朝日新聞 2020/05/30



りんごだんだん

小川 忠博 著
あすなろ書房

おいしそうな「りんご」を 1 年ほどしまっておいたら、どうなると思いますか。しわしわ、ぱんぱん、しなしな、ぐんにやり...。誰も見たことのない「りんご」が朽ちていく過程を写真で紹介します。

2020:2./ 31p
978-4-7515-2961-4
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/05/30



加害者家族バッシング～世間学から考える～

佐藤 直樹 著
現代書館

ニッポン特有の現象である加害者家族バッシング。世間学の観点に立ち、加害者家族へのバッシングの構造を明らかにし、その背景にある世間の閉塞感・息苦しさ・生きづらさを解除する手がかりを探る。テキストデータ請求券付き。

2020:4./ 190p
978-4-7684-5875-4
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/05/30



監視文化の誕生～社会に監視される時代から、ひとびとが進んで監視する時代へ～

デイヴィッド・ライアン、田畑 暁生 著
青土社

なぜ権力による監視には抵抗しつつも、自らの個人情報を進んでアップし続けるのか？ SNS やビッグデータによる「透明化」がもたらすものとは何か。監視論の権威による、オンライン時代の監視文化論。

2019:4./ 283p,8p
978-4-7917-7162-2
本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2020/05/30



ゾルゲを助けた医者～安田徳太郎と<悪人>たち～

安田 一郎 著
青土社

小林多喜二の拷問死体を検分し、ゾルゲ事件で有罪判決を受けた町医者、安田徳太郎。彼の信念を支えたものとは。徳太郎の長男が、明治から終戦直後までの日本の出来事を織り交ぜながら、徳太郎を中心に安田家の出来事を綴る。

2020:3./ 277p
978-4-7917-7257-5
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/05/30



宿無し弘文～スティーブ・ジョブズの禅僧～

柳田 由紀子 著
集英社インターナショナル

スティーブ・ジョブズをはじめ、世界中の弟子たちが慕った禅師、乙川弘文。しかし彼は「破戒僧」でもあった！ 一体弘文とは何者だったのか。その波乱万丈の人生に迫る。季刊『Kotoba』『新潟日報』連載を改稿し書籍化。

2020:4./ 325p,9p
978-4-7976-7382-1
本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2020/05/30



王の祭り

小川英子 著
ゴブリン書房

女王陛下の革手袋をつくるため、父親とケニルワース城へ向かった少年ウィルは、そこで女王暗殺の計画に巻きこまれる。妖精の力を借りて女王を助けようとするが…。時と処を超えて繰り広げられる、壮大な歴史ファンタジー。

朝日新聞 2020/05/30

2020:4./ 317p

978-4-902257-39-7

本体 ¥1,500+税



ドラえもん論～ラジカルな「弱さ」の思想～(ele-king books)

杉田 俊介 著
Pヴァイン

弱さ、優しさ、まっとうさ、絶望と希望、科学、宗教、政治、進化…。『ドラえもん』ワールドから学んだ面白さ、藤子・F・不二雄が『ドラえもん』という作品の中に込めた「思想」の意味を語る。

朝日新聞 2020/05/30

2020:3./ 279p

978-4-909483-50-8

本体 ¥2,150+税



美しい痕跡～手書きへの讃歌～

フランチェスカ・ビアゼットン 著
みすず書房

書かれた文字は、その人の記しであり、生きた証しである。書かれた文字の豊かさに魅せられ、自らも文字による表現の可能性を押し広げてきたイタリアのカリグラファーが、長年の活動を通しめづらせてきた思索と作品を収める。

朝日新聞 2020/05/30、読売新聞 2020/05/31

2020:4./ 149p,49p

978-4-622-08882-0

本体 ¥3,400+税



コロナの時代の僕ら

パオロ・ジョルダーノ 著
早川書房

この災いに立ち向かうために、僕らは何をするべきだったのだろうか。何をしてはいけなかったのだろうか。そしてこれから、何をしたらよいのだろうか。コロナの時代を生きる人々に、イタリア人作家が贈る痛切で誠実なエッセイ集。

東京・中日新聞 2020/05/03

2020:4./ 126p

978-4-15-209945-7

本体 ¥1,300+税



国会をみよう～国会パブリックビューイングの試み～

上西 充子 著
集英社クリエイティブ

街頭にスクリーンを設置し、国会審議を映して人々に見てもらう「国会パブリックビューイング」。2018年6月の活動開始から2019年6月の一周年記念交流会までのその活動を、「ご飯論法」の発案者が綴る。

東京・中日新聞 2020/05/03

2020:2./ 239p

978-4-420-31087-1

本体 ¥1,600+税



未来のルーシー～人間は動物にも植物にもなれる～

中沢 新一／山極 寿一 著
青土社

現代を代表する2つの知性が、霊長類学、人類学から生命科学、AIまで森羅万象を縦横無尽に往還しながら、閉塞した人類が進むべき未来を模索し…。世界とは何か、私たちとは何か。根源的問いに迫る中沢新一と山極寿一の対談。

東京・中日新聞 2020/05/03

2020:2./ 230p

978-4-7917-7252-0

本体 ¥1,800+税





THE LYRICS<1961-1973>

ボブ・ディラン 著

岩波書店

アメリカ大衆歌謡の伝統を汲みながら詩に新地平をひらき、音楽とことばの限界を超えていった現代の吟遊詩人ボブ・ディランの神髄。「ボブ・ディラン」から「プラネット・ウェイヴズ」まで、自作詞全 200 篇を対訳形式で収録。

2020:3./ 5p,549p,11p

978-4-00-061399-6

本体 ¥4,500+税



東京・中日新聞 2020/05/03、毎日新聞 2020/05/09



THE LYRICS<1974-2012>

ボブ・ディラン 著

岩波書店

アメリカ大衆歌謡の伝統を汲みながら詩に新地平をひらき、音楽とことばの限界を超えていった現代の吟遊詩人ボブ・ディランの神髄。「血の轍」から「テンペスト」まで、自作詞全 187 篇を対訳形式で収録。

2020:3./ 5p,575p,9p

978-4-00-061400-9

本体 ¥4,500+税



東京・中日新聞 2020/05/03、毎日新聞 2020/05/09



戦後日本の満洲記憶

佐藤 量／菅野 智博／湯川 真樹江 編

東方書店

満洲引揚者の歴史を戦後日本社会の中で捉え直す試み。満洲経験者が書き残し続けた会報を取り上げ、会報の担い手の世代差、団体の活動や記述内容の変化に注目し、満洲引揚者の記憶と表象のあり方を考察する。

2020:3./ 358p

978-4-497-22004-2

本体 ¥5,000+税



東京・中日新聞 2020/05/09



タマ、帰っておいで〜REQUIEM for TAMA〜

横尾 忠則 著

講談社

この絵はアートではない。猫への愛を描いた…。2014 年に亡くなった愛猫「タマ」。天に召されたその日から、横尾忠則が描き続けた 91 点のタマの絵に、タマに捧げた多くの文章を添えた画文集。

2020:3./ 153p

978-4-06-518794-4

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2020/05/09、産経新聞 2020/05/10



まつろわぬ者たちの祭り〜日本型祝賀資本主義批判〜

鶴飼 哲 著

インパクト出版会

政治的、社会的な未曾有の危機に陥った日本資本主義が、スポーツ・ナショナリズムの鞭を全力で振るって、なりふり構わず正面突破を図ろうとしている。「日本型祝賀資本主義」の強制に抗する論考を収録。

2020:4./ 287p

978-4-7554-0303-3

本体 ¥2,500+税



東京・中日新聞 2020/05/09、朝日新聞 2020/05/16



よそ者たちの愛(エクス・リブリス)

テレツィア・モーラ 著

白水社

孤独や言い知れぬ閉塞感を抱えながら、都市の片隅で不器用に生きる人々。どこにでも、誰のなかにも存在する<よそ者>たちの様々な思いを描いた短篇集。「マリンガ一のエラ・ラム」「森に迷う」など、全 10 篇を収録する。

2020:4./ 276p

978-4-560-09061-9

本体 ¥2,900+税



東京・中日新聞 2020/05/09、日本経済新聞 2020/05/23



老いてこそ生き甲斐

石原 慎太郎 著

幻冬舎

最晩年に達した今だからこそ実感する「老い」という現実とは。人生の成熟がもたらす最後の楽しみとは。古今東西の偉人たちの晩年のエピソードも交えながら、「老い」という人生の味わいを綴る。

東京・中日新聞 2020/05/16

2020:3./ 206p

978-4-344-03589-8

本体 ¥1,400+税



芥川賞候補傑作選<戦前・戦中編> 1935-1944

鶴飼 哲夫 編

春陽堂書店

芥川賞の候補になった秀作のうち、今日では入手が難しい作品の中から、未知の世界へ冒険に飛び出した新人の清新な短編と選評を掲載。戦前・戦中編は、太宰治「逆行」、織田作之助「俗臭」など 14 編を収録。

東京・中日新聞 2020/05/16

2020:4./ 11p,675p

978-4-394-19005-9

本体 ¥1,800+税



「あの人」のこと

久世 光彦 著

河出書房新社

向田邦子、樹木希林、高倉健、森繁久彌、美空ひばり。才人・久世光彦がその琴線にふれた人々を卓抜な審美眼と愛情をもって描き出す。人々の息吹と時代がよみがえる名品を精選したオリジナル・アンソロジー。

東京・中日新聞 2020/05/16、読売新聞 2020/05/17

2020:3./ 238p

978-4-309-02860-6

本体 ¥1,700+税



スパイ関三次郎事件～戦後最北端謀略戦～

佐藤 哲朗 著

河出書房新社

戦後混乱期の宗谷海峡。ソ連の密入国工作員として裁かれた関三次郎は、実はアメリカ CIC のスパイだった。関三次郎をはじめ数百名への取材と膨大な資料をもとに、歴史の闇に葬られた戦後冷戦下の謀略活動を明らかにする。

東京・中日新聞 2020/05/23

2020:4./ 282p

978-4-309-02879-8

本体 ¥2,500+税



お茶をどうぞ～向田邦子対談集～(河出文庫 む 5-1)

向田 邦子 著

河出書房新社

没後 35 年、対談の名手と言われた向田邦子と、黒柳徹子、森繁久彌、久世光彦らとの対談集。テレビと小説、おしゃれと食、男の品定めなどについて縦横に語り合う。

東京・中日新聞 2020/05/23

2019:1./ 270p

978-4-309-41658-8

本体 ¥780+税



格差は心を壊す～比較という呪縛～

リチャード ウィルキンソン／ケイト ピケット 著

東洋経済新報社

私たちが追い詰める“他人の目”という呪縛。激しい格差は人類の競争本能を暴走させ、環境も破壊する。地球の破滅を防ぐために何ができるか。500 超の文献と国際比較データを駆使し、誰もが幸せな社会を構想する。

東京・中日新聞 2020/05/23

2020:4./ 7p,434p,52p

978-4-492-31526-2

本体 ¥2,800+税





神木探偵～新宿る木の秘密～

本田不二雄 著

駒草出版

なぜその木は「御神木」となったのか、なぜわれわれはそれに心奪われるのか。見る者の魂を震わす全国の「すごい」御神木 69 柱を探查し、日本人の内なる霊性をあぶりだす。

2020:4./ 255p

978-4-909646-29-3

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2020/05/23



兄の終い

村井 理子 著

CCCメディアハウス

警察署からの電話で兄の死を知った。周りに迷惑ばかりかける人だった。体を壊し、職を失い、貧困から這いあがることなく死んだ兄を弔うために、元妻、息子、妹である私が集まり…。怒り、泣き、ちょっと笑った 5 日間の実話。

2020:4./ 169p

978-4-484-20208-2

本体 ¥1,400+税



東京・中日新聞 2020/05/31



バリ島の影絵人形芝居ワヤン

梅田英春 著

めこん

インドネシアの伝統芸能のひとつ、人形影絵芝居「ワヤン」。バリ島中南部の伝統的なワヤンに用いられる 180 体近い人形を、その役割や物語ごとにまとめて解説する。ワヤンについての概論も収録。

2020:3./ 215p

978-4-8396-0320-5

本体 ¥5,000+税



東京・中日新聞 2020/05/31



<美しい本>の文化誌～装幀百十年の系譜～

臼田 捷治 著

Book&Design

「美しい本」とは何か？ 明治から令和へと続く日本の造本文化を支えてきた装幀家、編集者、画家らの仕事でたどる、日本近代装幀文化史。橋口五葉、小村雪岱、齋藤昌三、花森安治、藤田嗣治、東郷青児ほかを取り上げる。

2020:4./ 318p 図版

16p

978-4-909718-03-7

本体 ¥3,000+税



東京・中日新聞 2020/05/31



バグトリデザイン～事例で学ぶ「行為のデザイン」思考～

村田智明 著

朝日新聞出版

人の行為に注目すれば、あるべきデザインが見えてくる。「行為のデザイン」を実践できるよう、基本的な考え方と企業での事例を解説。行為を想像体験することでバグを抽出し、洞察するワークショップの進め方も紹介する。

2020:2./ 331p

978-4-02-331863-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/05/03



今日も町の隅で

小野寺 史宜 著

KADOKAWA

バンドでリードギターを降格された悠太が初デートで訪れたのは、“ツリー”ではなく“タワー”だった…。「逆にタワー」ほか、それぞれの「選択」をする男女を描いた 10 編を収録。『小説すばる』掲載に書下ろしを加え書籍化。

2020:2./ 282p

978-4-04-108303-1

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/05/03



証言 沖縄スパイ戦史(集英社新書 1011)

三上 智恵 著

集英社

住民虐殺、スパイリスト、陰惨な裏の戦争は、なぜ起きたのか。2018 年公開の映画「沖縄スパイ戦史」には収まらなかった、30 名余の証言と追跡取材で、沖縄にとどまらない国土防衛戦の本質に迫る。

読売新聞 2020/05/03

2020:2./ 749p

978-4-08-721111-5

本体 ¥1,700+税



童謡名曲事典

長田 暁二 著

全音楽譜出版社

元レコーディング・ディレクター、音楽文化研究家の長田暁二による童謡名曲事典。数々の童謡を世に送り出してきた著者が、「名曲誕生」の瞬間、時代背景、歌詞の内容などを解説する。全曲歌詞・楽譜付き。

読売新聞 2020/05/03

2020:3./ 619p

978-4-11-880235-0

本体 ¥7,500+税



夜の谷を行く(文春文庫 き 19-21)

桐野 夏生 著

文藝春秋

連合赤軍がひき起こした「あさま山荘」事件から 40 年余。メンバー同士でのリンチ殺人「総括」から脱走した西田啓子は、服役を経て静かに暮らしていた。しかし、決別したはずの過去に直面させられ....。

読売新聞 2020/05/03

2020:3./ 329p

978-4-16-791452-3

本体 ¥670+税



?外の恋 舞姫エリスの真実(河出文庫 ろ 1-1)

六草 いちか 著

河出書房新社

森?外の名作「舞姫」の悲劇のヒロイン、エリスのモデルとは誰か? 世間を騒がせてきた積年の謎をついに解明。徹底的な調査によって発見された資料による決定的事実の数々を紹介する。

読売新聞 2020/05/03

2020:4./ 395p

978-4-309-41740-0

本体 ¥1,250+税



ALS を生きる～いつでも夢を追いかけていた～

谷川 彰英 著

東京書籍

大学を退職後、地名作家として順風に第 2 の人生を送っていた著者は、思いもかけず病に襲われる。難病の ALS(筋萎縮性側索硬化症)を宣告されるまでの経緯、これまでの人生、そして「これからどう生きるか」を綴る。

読売新聞 2020/05/03

2020:3./ 253p

978-4-487-81375-9

本体 ¥1,500+税



自分ひとりの部屋(平凡社ライブラリー 831)

ヴァージニア・ウルフ 著

平凡社

<女性と小説>というテーマで講演を頼まれた語り手は、収入も自分の部屋もなかった、もの書く女性たちに思いをはせる。講演をもとに、物語の形をとりながら女性の文学の歴史と未来への期待を紡いだフェミニズム批評の新訳。

読売新聞 2020/05/03

2015:8./ 269p

978-4-582-76831-2

本体 ¥1,200+税





認識と反省性～ピエール・ブルデューの社会学的思考～

磯 直樹 著

法政大学出版局

ハビトゥス、界、資本という基礎概念はいかに形成されたのか。理論と調査を往還し、独自の認識論を打ち立てた社会学者ピエール・ブルデュー。その足どりを、膨大な未邦訳文献と一次史料をもとに丹念に追う。

2020:2./ 7p,392p,37p

978-4-588-15105-7

本体 ¥5,000+税



読売新聞 2020/05/03



時代へ、世界へ、理想へ～同時代クロニクル 2019→2020～

高 村 薫 著

毎日新聞出版

政治腐敗は極を超え、社会システムは破綻寸前。ウイルスが、気候変動が、地球環境から個人の肉体、精神までおびやかす。不穏な時代に確かな理想を手渡してくれる、根底的な思考による時評集。『サンデー毎日』連載を書籍化。

2020:3./ 251p

978-4-620-32631-3

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/05/03



アートがひらく地域のこれから～クリエイティビティを生かす社会へ～

野田 邦弘／小泉 元宏／竹内 潔／家中 茂 編

ミネルヴァ書房

近年、アートによる地域活性化や観光振興などが注目を集め、創造産業や創造都市、地域アートに関する議論が盛んになっている。芸術・文化政策の理論の整理と事例の検討から、多彩なヒントを学ぶ実践的入門書。

2020:3./ 10p,275p

978-4-623-08800-3

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2020/05/03



にわか<京都人>宣言～東京者の京都暮らし～(イースト新書 123)

校條 剛 著

イースト・プレス

地元では当たり前の「地藏盆」の存在、気まぐれすぎる気候、謎のスーパーと変わった品揃え、常に「よそさん」が来る町に暮らすことで育まれた京都人の気風…。京都生活を送る東京人が綴る文化エッセイ。

2020:4./ 246p

978-4-7816-5123-1

本体 ¥860+税



読売新聞 2020/05/03



大阪人物往来～人がたり外伝～

倉橋 健一 著

澪標

大阪人ではない大阪を通り過ぎる人、つまりエトランジェに大阪はどう映ったのだろうか。小林秀雄、夏目漱石など近代社会に活躍した43人の文人たちによる、魅力あふれる大阪体験を紹介。タウン誌『おおさかの街』連載を書籍化。

2020:2./ 228p

978-4-86078-468-3

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/05/03



SS 先史遺産研究所アーネンエルベ～ナチスのアーリア帝国構想と狂気の学術～

ミヒャエル・H・カーター 著

ヒカルランド

インドゲルマン先史学、ルーン文字、チベット探検、人種論、強制収容所での凄惨な実験…。ナチス親衛隊「SS」によるアーリア帝国建設のシンクタンクとなった謎の巨大研究組織<アーネンエルベ>の全貌を明かす。

2020:2./ 795p

978-4-86471-827-1

本体 ¥9,000+税



読売新聞 2020/05/03



WE LOVE HONG KONG

ERIC 著

赤々舎

若者たちを、かつての自分の分身のように直感しつつも、レンズの向こう側にその姿を捉えてきた。香港のアイデンティティを守るための若者たちの闘いを、香港を離れて久しい著者が撮影した写真集。本体は背表紙なし糸綴じ。

2019.12./ 1 冊(ペー
ジ付なし)

978-4-86541-110-2

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2020/05/03



世界の悲慘<1>(ブルデュー・ライブラリー)

ピエール・ブルデュー 編

荒井 文雄、櫻本 陽一 著

藤原書店

ブルデューと弟子達が、52 のインタビューにおいて、ブルーカラー労働者、農民、失業者などの「声なき声」に耳を傾け、その「悲慘」をもたらした社会的条件を明らかにする。1 は、場所の作用、国家の不作为などを収録。

2019.12./ 491p

978-4-86578-243-1

本体 ¥4,800+税



読売新聞 2020/05/03



世界の悲慘<2>(ブルデュー・ライブラリー)

ピエール・ブルデュー 編

藤原書店

ブルデューと弟子達が、52 のインタビューにおいて、ブルーカラー労働者、農民、失業者などの「声なき声」に耳を傾け、その「悲慘」をもたらした社会的条件を明らかにする。2 は、正規/非正規労働者の分断などを取り上げる。

2020.1./ p495?1086

978-4-86578-256-1

本体 ¥4,800+税



読売新聞 2020/05/03



世界の悲慘<3>(ブルデュー・ライブラリー)

ピエール・ブルデュー 編

藤原書店

ブルデューと弟子達が、52 のインタビューにおいて、ブルーカラー労働者、農民、失業者などの「声なき声」に耳を傾け、その「悲慘」をもたらした社会的条件を明らかにする。3 は、多様な談話と「聞き取り」の方法論を収録。

2020.2./ p1089?1533

978-4-86578-257-8

本体 ¥4,800+税



読売新聞 2020/05/03



猫を棄てる〜父親について語るとき〜

村上 春樹 著

文藝春秋

時が忘れさせるものがあり、そして時が呼び起こすものがある。中国での戦争経験を持つ父親の記憶を引き継いだ作家が父子の歴史と向き合う。初めて自らのルーツを綴ったノンフィクション。『文藝春秋』掲載を単行本化。

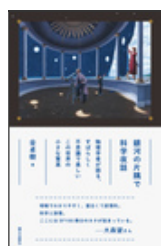
2020.4./ 101p

978-4-16-391193-9

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2020/05/03、東京・中日新聞 2020/05/16、産経新聞 2020/05/24



銀河の片隅で科学夜話〜物理学者が語る、すばらしく不思議で美しいこの世界の小さな驚異〜

全 卓樹 著

朝日出版社

真空の発見、じゃんけん必勝法と民主主義の数理、反乱を起こす奴隷アリ…。物理学者が、すばらしく不思議で美しい、この世界の小さな驚異について語る。『あさひてらす』第二編集部ブログ掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2020.2./ 190p

978-4-255-01167-7

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/05/03、日本経済新聞 2020/05/16



パルプ・ノンフィクション～出版社つぶれるかもしれない日記～

三島 邦弘 著

河出書房新社

やれるだけやっても、売れない。好きだけじゃ、仕事にならない…。原点回帰を標榜する野生派出版社・ミシマ社に押し寄せる荒波に追い詰められた男は、それでもこれからの面白い働き方を信じて奔走する! 崖っぷち出版奮闘記。

2020:3./ 319p

978-4-309-02868-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/05/03、日本経済新聞 2020/05/16



アメリカ最強の特殊戦闘部隊が「国家の敵」を倒すまで～NO EASY DAY～

マーク・オーウェン、ケヴィン・マウラー、熊谷 千寿 著

講談社

アメリカ海軍特殊部隊「Navy SEALs」の精鋭で構成され、対テロ戦、暗殺などを主要任務とする「DEVGRU」。その元メンバーである著者が、実際に参加し、現場で目撃したビンラディン暗殺作戦の全貌を語る。

2014:11./ 296p

978-4-06-219002-2

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/05/10



十角館の殺人 新装改訂版(講談社文庫)

綾辻 行人 著

講談社

すべてはここから。清冽なる新本格の源流! 大学ミステリ研究会の七人が訪れた十角形の奇妙な館の建つ孤島・角島。メンバーが一人、また一人、殺されていく。「十角館」の刊行から二十年。あの衝撃を再び!

2007:10./ 495p

978-4-06-275857-4

本体 ¥860+税



読売新聞 2020/05/10



?

星野 智幸 著

新潮社

炎天下の公園で、涙が止まらない人で溢れかえる世界で、人間が貨幣となり自らを売買する社会で。自分ではない何かになりたいと切望する人々が、自らの物語を語り始め…。連環する9つの物語。『新潮』他掲載に加筆し単行本化。

2018:1./ 265p

978-4-10-437204-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/05/10



懐かしいお菓子～武井武雄の『日本郷土菓子図譜』を味わう～(とんぼの本)

伴田良輔／今村 規子／山岸 吉郎／河西 見佳 著

新潮社

大好きだったあの饅頭、煎餅、羊羹にまた会えます。昭和の人気童画家・武井武雄が、戦前から戦後にかけて密かに描きつづけたお菓子のスケッチ全 169 点を公開。現在も製造販売しているお菓子 99 の情報なども紹介します。

2020:1./ 127p

978-4-10-602291-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/05/10



弁護士ダニエル・ローリンズ(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 477-1)

ヴィクター・メソス 著

早川書房

元夫の再婚が決まり、連日二日酔い出廷中の刑事弁護士ダニエル。麻薬密売容疑をかけられた知的障害のある黒人少年の弁護依頼を受け、簡単に不起訴処分に持ち込めるかに思えたが、なぜか検察も判事も実刑判決にする気満々で…。

2020:4./ 463p

978-4-15-184051-7

本体 ¥1,060+税



読売新聞 2020/05/10



ロング・グッドバイ(Raymond Chandler Collection)

レイモンド・チャンドラー 著

早川書房

私立探偵フィリップ・マーロウは、億万長者の娘シルヴィアの夫テリー・レノックスと知り合う。何度か会って杯を重ねるうち、互いに友情を覚えはじめたふたり。しかし、やがてレノックスは妻殺しの容疑をかけられ...

2009:3./ 711p

978-4-15-209010-2

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/05/10



いけない

道尾 秀介 著

文藝春秋

友達のいない少年が目撃した殺人現場は本物か？ 偽物か？ 各章の最終ページを捲ると現れる地図や写真の意味が解った瞬間、物語の別の顔が見えてくる...。驚愕ミステリー。『オール讀物』他掲載に書き下ろしを加え単行本化。

2019:7./ 251p

978-4-16-391051-2

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/05/10



フテンマ戦記～基地返還が迷走し続ける本当の理由～

小川 和久 著

文藝春秋

民間人の立場で普天間基地返還問題に関わった軍事アナリストの回想。誰が泥沼に陥らせたか、なぜ辺野古案は使いものにならないか。合意から 24 年間の手帳、メモ、資料をもとにすべてを明らかにする。

2020:3./ 367p

978-4-16-391181-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/05/10



秘める恋、守る愛

高見澤 俊彦 著

文藝春秋

過去に生きる夫、秘密を抱えた妻、本心を隠す娘。すれ違う心で旅する 7 日間。ドイツの空の下、悩める家族の行方は...? THE ALFEE のリーダーとして数多くの愛の詞を手掛けた著者が描き出す、大人の愛の物語。

2020:4./ 253p

978-4-16-391188-5

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/05/10



マディソン郡の橋(文春文庫)

ロバート・ジェームズ・ウォラー 著

文芸春秋

アイオワの小さな村を訪れ、橋を撮っていた写真家と、ふとしたことで知り合った村の人妻。束の間の恋が、別離ののちも二人の人生を支配する。静かな感動の輪が広がり、ベストセラーに。

1997:9./ 241p

978-4-16-725423-0

本体 ¥670+税



読売新聞 2020/05/10



ブルーネス(文春文庫 い 106-1)

伊与原 新 著

文芸春秋

東日本大震災後に地震研究所を辞めた準平は、学会で異端視される武智に「津波監視システムの実現に手を貸して欲しい」と誘われ...。自らの使命を見つめ直す科学者たちの、新たな挑戦を描く。

2020:4./ 459p

978-4-16-791473-8

本体 ¥960+税



読売新聞 2020/05/10



日本文学全集<04> 源氏物語(上)

紫式部 著

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。04 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「桐壺」から「少女」までを、角田光代による完全新訳で収録する。しおり付き。

2017:9./ 689p

978-4-309-72874-2

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2020/05/10



日本文学全集<05> 源氏物語(中)

紫式部 著

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。05 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「玉鬘」から「幻」までを、角田光代による完全新訳で収録する。解説付き。

2018:11./ 661p

978-4-309-72875-9

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2020/05/10



日本文学全集<06> 源氏物語(下)

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。06 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「匂宮」から「夢浮橋」までを、角田光代による完全新訳で収録する。解説付き。

2020:2./ 637p

978-4-309-72876-6

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2020/05/10



だから古典は面白い(幻冬舎新書 の-3-1)

野口 悠紀雄 著

幻冬舎

トルストイの「戦争と平和」、シェイクスピアの「マクベス」…。古典を読めば、そのめくるめく世界観に心浮き立ち、仕事や人生に有益な知識も身につく。無類の読書家・経済学者の著者が、面白くて役に立つ本の読み方を伝える。

2020:3./ 281p

978-4-344-98587-2

本体 ¥840+税



読売新聞 2020/05/10



明智光秀と細川ガラシャ～戦国を生きた父娘の虚像と実像～(筑摩選書 0187)

井上 章一、郭 南燕、呉座 勇一 著

筑摩書房

織田信長を裏切った武将・明智光秀と、キリスト教に改宗し、人質になることを拒絶して死に追い込まれた悲劇のヒロイン・細川ガラシャ。欧州のキリスト教事情や近代日本でイメージが変容した過程などから、父娘の実像に迫る。

2020:3./ 278p

978-4-480-01695-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/05/10



向田邦子ベスト・エッセイ(ちくま文庫 む 13-1)

向田 邦子 著

筑摩書房

向田邦子の手にかかれば、ごく平凡に見える日常が鮮やかな色彩を帯びて動き出す。家族、食、私、仕事のことから处世術まで綴ったエッセイを、末妹がテーマ別に50篇精選する。

2020:3./ 373p

978-4-480-43659-7

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/05/10



江戸東京野菜の物語～伝統野菜でまちおこし～(平凡社新書 937)

大竹 道茂 著

平凡社

東京から畑が消え、江戸から受け継がれてきた野菜やその歴史も忘れられていった。危機に瀕する野菜と文化を守るため、様々な人や団体から力を得ながら、伝統野菜の復活と地域の活性化に奮闘する活動の記録。

読売新聞 2020/05/10

2020:3./ 254p

978-4-582-85937-9

本体 ¥900+税



さらに不思議なイングリッシュネス(英国人のふるまいのルール 2)

ケイト・フォックス 著

みすず書房

新居に招かれたら何を言うか。葬儀の席で最適の涙の量は? 階級という堅固な地盤の上、イギリス人の生息するあらゆる場で、イングリッシュネスの基本的ルールがどう発動されるかを徹底検証する。

読売新聞 2020/05/10

2020:1./ 10p,221p,9p

978-4-622-08876-9

本体 ¥3,600+税



親王殿下のパティシエール<2> 最強の皇女(ハルキ文庫 し 14-2)

篠原悠希 著

角川春樹事務所

中国・清の宮廷でパティシエール見習いとして働く仏華ハーフのマリー。だが、新しい厨师たちは女性が厨房にいることに懐疑的。マリーは彼らを認めさせることができるのか? 中華スイーツ浪漫。

読売新聞 2020/05/10

2020:4./ 261p

978-4-7584-4333-3

本体 ¥640+税



南方熊楠のロンドン～国際学術雑誌と近代科学の進歩～

志村 真幸 著

慶應義塾大学出版会

19 世紀末、ロンドンに留学し、世界各国の辞書や事典を渉猟し、学問的研鑽を積んだ南方熊楠。国際学術誌に 376 篇もの英文論考を寄稿し、東洋からの知見の提供によって近代科学の発展を支えた熊楠の営為を捉え直す。

読売新聞 2020/05/10

2020:2./ 280p,6p

978-4-7664-2650-2

本体 ¥4,000+税



ある映画の物語(草思社文庫 ト 2-1)

フランソワ・トリュフォー 著

草思社

「華氏 451」製作中の苦悶する日々の撮影日記、「アメリカの夜」の映画作りの混乱する現場を描いたシナリオを収録。トリュフォー監督が自作 2 作品を通して、映画という芸術形式の創造の秘密を赤裸々にかつ率直に綴る。

読売新聞 2020/05/10

2020:4./ 589p

978-4-7942-2450-7

本体 ¥1,600+税



縫いながら、紡ぎながら

アニエス・マルタン・リュガン(著) 徳山素子(翻訳) 著

TAC出版

保守的な価値観の中でまわりに流されて生きてきた主人公イリスは、毒ともいえるほどの影響力を持つ人たちとの関係に魅了され、時に深く悩みながら、本当に求めるものを選び取っていき…。若きクチュリエルの物語。

読売新聞 2020/05/10

2020:3./ 334p

978-4-8132-8794-0

本体 ¥2,200+税





教養として学んでおきたい能・狂言(マイナビ新書)

葛西 聖司 著
マイナビ出版

難しそう、敷居が高いと思われがちな能や狂言へ誘う。著者が大好きな物語の絵解き、著者ならではの能や狂言の楽しみ方を中心に紹介する。能楽堂に入るところから、ドラマチックな歴史物語、おすすめの能楽などを綴る。

読売新聞 2020/05/10

2020:4./ 223p

978-4-8399-7151-9

本体 ¥870+税



伊藤若冲〜よみがえる天才 1〜(ちくまプリマー新書 349)

辻 惟雄 著
筑摩書房

私は理解されるまでに 1000 年のときを待つ。生前、名声をほしいままにしながら、その後、幾世紀も忘れ去られた存在であった若冲が残した謎の言葉の秘密を明かす。カラー図版も多数収録。

読売新聞 2020/05/10、朝日新聞 2020/05/16

2020:4./ 255p

978-4-480-68374-8

本体 ¥1,000+税



食の歴史〜人類はこれまで何を食べてきたのか〜

ジャック・アタリ 著
ブレイズデント社

食の歴史と未来を知れば、政治、社会、テクノロジー、地政学、イデオロギー、文化、快楽等も一挙にわかる。ヨーロッパを代表する知識人、ジャック・アタリが、人間の食のあり方に関する過去と未来を論じる。

読売新聞 2020/05/10、毎日新聞 2020/05/23

2020:2./ 358p,29p

978-4-8334-2361-8

本体 ¥2,700+税



ドゥルーズ『意味の論理学』の注釈と研究〜出来事、運命愛、そして永久革命〜

鹿野 祐嗣 著
岩波書店

哲学者ドゥルーズの 2 番目の主著「意味の論理学」の全容を文献学的手法で読み解き、1960 年代ドゥルーズ哲学の核心にある「存在論的な永久革命の思想」を再燃させる。難解なドゥルーズ著作の注釈という試み。

読売新聞 2020/05/17

2020:2./

21p,601p,147p

978-4-00-061392-7

本体 ¥7,500+税



大衆の反逆(岩波文庫 34-231-1)

オルテガ・イ・ガセット 著
岩波書店

スペインの哲学者による痛烈な同時代批判の書。自らの使命を顧みず、皆と同じであることに満足した大衆は、人間の生や世界をいかに変質させたのか。「フランス人のためのプロローグ」「イギリス人のためのエピローグ」も収録。

読売新聞 2020/05/17

2020:4./ 424p,3p

978-4-00-342311-0

本体 ¥1,070+税



パンデミックとたたかう(岩波新書 新赤版 1219)

押谷 仁、瀬名 秀明 著
岩波書店

燎原の火のごとく広がる新型インフルエンザ。いま必要なのは過度に恐れず、適切に恐れること。作家と専門家が根源を見すえた議論を交わす。パンデミックに立ち向かう勇気と、冷静に対処する視座を示す対話篇。

読売新聞 2020/05/17

2009:11./ 190p

978-4-00-431219-2

本体 ¥700+税





日本の最終講義

鈴木 大拙／宇野 弘蔵／大塚 久雄／桑原 武夫／貝塚 茂樹／清水 幾太郎／遠山 啓／中村 元／芦原 義信／土居 健郎／家永 三郎／鶴見 和子／猪木 正道／河合 隼雄／梅棹 忠夫／多田 富雄／江藤 淳／網野 善彦／木田 元／加藤 周一／中嶋 嶺雄／阿部 謹也／日野原 重明 著

KADOKAWA

鈴木大拙、網野善彦、日野原重明ら日本を代表する知の巨人たちが残した、人生と学問の総決算ともいえる最終講義を精選。「退官記念」「最終講義」「最後の講義」等、本人がそれと自認していたものを、講義の編年順に収録。

読売新聞 2020/05/17

2020:3./ 756p

978-4-04-400556-6

本体 ¥4,500+税



進化のからくり～現代のダーウィンたちの物語～(ブルーバックス B-2125)

千葉 聡 著

講談社

「進化のからくり」の解明に魅せられた進化生物学者たちの知的なワンダーランドを、気鋭の進化生物学者が描く。進化をめぐる謎解きのストーリーと人間ドラマを楽しめる一冊。『本』連載を改題、再構成し、加筆・修正。

読売新聞 2020/05/17

2020:2./ 262p

978-4-06-518721-0

本体 ¥1,000+税



全体性と無限(講談社学術文庫 2566)

エマニュエル・レヴィナス 著

講談社

個体から主体性を奪い、暴力を導く「全体性」に対抗するために「無限」を説く。20 世紀を代表する哲学者エマニュエル・レヴィナスによる、現代の世界に不可欠の書。

読売新聞 2020/05/17

2020:4./ 583p

978-4-06-519344-0

本体 ¥1,880+税



最後の秘境東京藝大～天才たちのカオスな日常～(新潮文庫 に-33-1)

二宮 敦人 著

新潮社

入試倍率は東大の 3 倍! 卒業後は行方不明者多数? 藝大生を妻に持つ著者が、謎に満ちた「東京藝大」に潜入した探検記。全 14 学科を擁するカオスなワンダーランドを紹介する。

読売新聞 2020/05/17

2019:4./ 355p

978-4-10-101231-5

本体 ¥590+税



パラサイト・イヴ(新潮文庫)

瀬名 秀明 著

新潮社

0

読売新聞 2020/05/17

2007:1./ 560p

978-4-10-121434-4

本体 ¥800+税



ソロモンの偽証<6> 第3部 法廷(下)(新潮文庫 み-22-30)

宮部 みゆき 著

新潮社

ひとつの?があった。柏木卓也の死の真相を知る者が、どうしても吐かなければならなかった?-。いま、真犯人が告げられる。完結。20 年後の“偽証”事件を描く、書き下ろし中編「負の方程式」も収録。

読売新聞 2020/05/17

2014:11./ 596p

978-4-10-136940-2

本体 ¥840+税





紳士と淑女のコロシウム「競技ダンス」へようこそ

二宮 敦人 著

新潮社

脇の下の筋肉を鍛えてライバルを優雅に蹴散らし、光速スピンドで肉体の限界を軽やかに超える。競技ダンスは闘技場(コロシウム)で繰り広げられる究極の格闘技だ。キレキレに踊れる小説家が、大学時代を捧げきった異世界を描く。

2020:3./ 428p

978-4-10-350292-0

本体 ¥1,650+税



読売新聞 2020/05/17



アガワ家の危ない食卓

阿川 佐和子 著

新潮社

「まずいものは食いたくない」がモットーの父。怒りん坊の亭主と子供達のために台所に立ち続けた母。毎食が波乱含みの一家の歴史を、食卓の情景で綴る。和田誠への追悼文も収録。『波』『クロワッサン』掲載を書籍化。

2020:3./ 219p

978-4-10-465522-9

本体 ¥1,350+税



読売新聞 2020/05/17



人類と病〜国際政治から見る感染症と健康格差〜(中公新書 2590)

詫摩 佳代 著

中央公論新社

ペスト、エイズ、新型コロナウイルスなどの感染症は次々と襲いかかる。その一方、生活習慣病や医療格差などの問題も深刻だ。国際保健にまつわる問題を洗い出し、これから続く人類と病の闘いに必要なことがらを検討する。

2020:4./ 8p,238p

978-4-12-102590-6

本体 ¥820+税



読売新聞 2020/05/17



青春忘れもの 増補版(中公文庫 い8-8)

池波 正太郎 著

中央公論新社

小卒で就職し、食、映画、芝居に夢中になり、吉原に通った戦前。海軍でしごかれた戦中期。戦後、師・長谷川伸の知遇を得て、脚本家として、さらには小説家として立つまで…。著者の痛快な青春記。短篇小説「同門の宴」を併録。

2020:4./ 267p

978-4-12-206866-7

本体 ¥840+税



読売新聞 2020/05/17



インフルエンザ 21世紀(文春新書)

瀬名 秀明、鈴木 康夫 著

文芸春秋

インフルエンザ防疫の最前線、ウイルスの正体、変異のメカニズム、危機管理のあり方…。薬学博士にして作家である著者が 30 名を超えるスペシャリストに取材して、ウイルスと人類の謎に迫る。

2009:12./ 500p

978-4-16-660733-4

本体 ¥1,250+税



読売新聞 2020/05/17



データ・リテラシー〜フェイクニュース時代を生き抜く〜(光文社新書 1062)

マーティン・ファクラー 著

光文社

デマに騙されるな! NY タイムズ元東京支局長が、虚偽に流され情報の蛸壺に陥らない方法と今すぐできる情報収集を手ほどき。また、経営危機から V 字回復を遂げた NY タイムズにメディア再興のヒントを探る。

2020:4./ 203p

978-4-334-04473-2

本体 ¥780+税



読売新聞 2020/05/17



聞き書き南相馬

渡辺一枝 著

新日本出版社

未曾有の災害と原発事故で深く傷ついたフクシマ。「3.11」以後、一人ひとりがどのように思い、揺らぎながら生きてきたかを、「南相馬」を定点に書き綴る。メールマガジンを書籍化。

読売新聞 2020/05/17

2020:3./ 221p

978-4-406-06437-8

本体 ¥1,700+税



果実とパンの組み立て方〜フルーツサンドの探求と料理・デザートへの応用〜

ナガタユイ 著

誠文堂新光社

はさむ、のせる・塗る、含ませる…。“果実”と“パン”のおいしさを探るとともに、果実が名脇役の世界のサンドイッチ、パンに合う果実を使った世界の料理、果実とパンとチーズの楽しみ方など、多彩なメニューを紹介する。

読売新聞 2020/05/17

2020:2./ 191p

978-4-416-52026-0

本体 ¥2,200+税



戦後日本漢字史(ちくま学芸文庫 ア 26-2)

阿辻 哲次 著

筑摩書房

GHQ には漢字廃止を提案し、また漢字制限のため当用漢字表・字体表が定められた。これを緩和する方向で常用漢字表制定と改定が行われる。「書く」文字から「打つ」文字となった変遷を辿る日本語論。

読売新聞 2020/05/17

2020:3./ 304p

978-4-480-09972-3

本体 ¥1,200+税



風と双眼鏡、膝掛け毛布

梨木 香歩 著

筑摩書房

双眼鏡を片手にふらりと旅へ。地名を手掛かりにその土地の記憶をたどり、人とそこに生きる植物や動物の営みに思いを馳せ、創造の翼を広げる珠玉のエッセイ集。『ちくま』連載を加筆し単行本化。

読売新聞 2020/05/17

2020:3./ 223p

978-4-480-80493-8

本体 ¥1,500+税



デジタル国富論

森 健/NRIデジタルエコノミーチーム 著

東洋経済新報社

デジタル資本主義が、ビジネス、生活、社会に及ぼす影響を大胆予測。人々の満足度、幸福度にも注目し、GDP に代わり、デジタル化がもたらす豊かさを測る、新経済指標を提言する。「デジタル資本主義」の続編。

読売新聞 2020/05/17

2020:3./ 12p,247p

978-4-492-39650-6

本体 ¥1,600+税



業平〜小説伊勢物語〜

高樹 のぶ子 著

日本経済新聞出版社

美しい要望と色好みで知られる在原業平の一代記。千年前から読み継がれる歌物語の沃野に分け入り、小説に紡ぐことで日本の美の源流が立ち現れた。『日本経済新聞』連載を単行本化。

読売新聞 2020/05/17

2020:5./ 458p 図版
16p

978-4-532-17156-8

本体 ¥2,200+税





アジア的空間の近代～知とパワーのグローバル・ヒストリー～(慶應義塾大学東アジア研究所叢書)

山本 信人 編

慶應義塾大学出版会

19世紀半ば、ヨーロッパとアジアで主権国家の再編と資本主義化が同時並行的に発生し、近代的アジア空間が形成された。その裏で展開された「英蘭-東南アジア-中国-日本」というダイナミックな流れを読みとく。

2020:3./ 4p,326p,4p

978-4-7664-2663-2

本体 ¥5,400+税



読売新聞 2020/05/17



高校生と考える日本の論点 2020-2030(桐光学園大学訪問授業)

出口 治明／沢木 耕太郎／会田 誠 著

左右社

沢木耕太郎、鈴木一誌、夏井いつき、水無田気流、会田誠をはじめとする広いジャンルにわたる一流講師陣が、中高生の好奇心を刺激した「大学訪問授業」の記録。2019年度「桐光学園特別授業」全21回を収録。

2020:3./ 319p

978-4-86528-271-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/05/17



ピーター・ブリューゲル物語～絞首台の上のカササギ～

ヨーン・フェレメレン 著

エディションq

スペイン・ハプスブルグ家の圧政下にフランドルの庶民的写実を貫いた天才画家の目には何が映ったのだろうか…。画家ピーター・ブリューゲルの人生を辿りながら、ネーデルランドの歴史上最も苛酷だった時代を描いた小説。

2001:5./ 429p

978-4-87417-683-2

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2020/05/17



アメリカの制裁外交(岩波新書 新赤版 1824)

杉田 弘毅 著

岩波書店

米外交は経済制裁、特にドル覇権を背景とする金融制裁を抜きには語れない。しかも根拠法の「国外適用」により第三国の企業や個人も制裁対象になる。それは世界と自国に何をもたらすのか。「米国第一主義」の内実を抉る。

2020:2./ 14p,236p

978-4-00-431824-8

本体 ¥840+税



読売新聞 2020/05/24



ハーバード流「聞く」技術(角川新書 K-303)

バトリック・ハーラン 著

KADOKAWA

相互理解は巧みな聞き方から始まる。「聞く→聴く→訊く→効く」の4ステップで最高の聞き手になる方法を紹介。思い込みで理解を遠ざける「バイアス」の外し方や、甘い言葉に騙されない「批判的思考」の鍛え方も伝授する。

2020:3./ 215p

978-4-04-082230-3

本体 ¥860+税



読売新聞 2020/05/24



野火 改版(角川文庫クラシックス)

大岡 昇平 著

角川書店

肺病でレイテ島に上陸した田村一等兵。死の予感から、島に踏み出した田村が見たものは。ミンドロ島で敗戦を迎え、米軍捕虜となった著者が、戦地と戦争の凄まじい有様を渾身の力で描き、高い評価を得た一冊。

1994:6./ 191p

978-4-04-121104-5

本体 ¥324+税



読売新聞 2020/05/24



お皿の上の生物学(角川ソフィア文庫 K137-1)

小倉 明彦 著

KADOKAWA

紅茶にレモンの汁を入れると色が薄くなるのはなぜ? ラーメンの温度は鍋と井ではど
ちらが保てる? 身近な食材・料理をもとに、生物学・解剖学などの話題から、知られざ
る食の文化や歴史までも解き明かす。

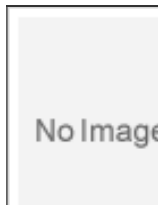
2020:4./ 284p

978-4-04-400542-9

本体 ¥880+税



読売新聞 2020/05/24



少年少女日本文学館<18> しろばんば

講談社

0

1986:2./ 413p

978-4-06-188268-3

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/05/24



町を歩いて、縄のれん(集英社文庫 お 77-11)

太田 和彦 著

集英社

旅に酒肴、映画や音楽…。居酒屋探訪家が、老いても楽しい充実した日常を綴る。
『サンデー毎日』連載のエッセイに、美しいカラー写真を添えて文庫化。

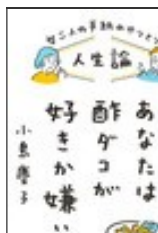
2020:4./ 252p

978-4-08-744107-9

本体 ¥820+税



読売新聞 2020/05/24



人生論あなたは酢ダコが好きか嫌い〜女二人の手紙のやりとり〜

佐藤 愛子／小島 慶子 著

小学館

悩み、愚痴、怒り。年の差 50 歳の真剣勝負。1923 年生まれと 1972 年生まれの女性
2 人が、夫婦、世の中、人生について手紙でやり取りする。『女性セブン』連載を加
筆・修正し、書下ろしとともに単行本化。

2020:5./ 189p

978-4-09-396548-4

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2020/05/24



敦煌 改版(新潮文庫 い-7-4)

井上 靖 著

新潮社

0

2009:12./ 307p

978-4-10-106304-1

本体 ¥550+税



読売新聞 2020/05/24



あすなろ物語 改版(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

0

2002:2./ 256p

978-4-10-106305-8

本体 ¥520+税



読売新聞 2020/05/24



天平の薨 改版(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

0

2005:8./ 230p

978-4-10-106311-9

本体 ¥520+税



読売新聞 2020/05/24



蒼き狼 改版(新潮文庫 い-7-13)

井上 靖 著

新潮社

風の如く蹂躪せよ。嵐の如く略奪せよ。世界史上未曾有の英雄、成吉思汗即位八百年!アジアの生んだ一代の英雄が史上空前の大帝国を築き上げるまでの波瀾に満ちた生涯を描く雄編。

2006:9./ 449p

978-4-10-106313-3

本体 ¥710+税



読売新聞 2020/05/24



額田女王 改版(新潮文庫 い-7-19)

井上 靖 著

新潮社

0

2010:4./ 621p

978-4-10-106319-5

本体 ¥840+税



読売新聞 2020/05/24



夏草冬濤<下>(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

0

1989:1./ 378p

978-4-10-106334-8

本体 ¥670+税



読売新聞 2020/05/24



北の海<下巻>(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

0

2003:8./ 353p

978-4-10-106338-6

本体 ¥590+税



読売新聞 2020/05/24



俘虜記 改版(新潮文庫 お-6-1)

大岡 昇平 著

新潮社

0

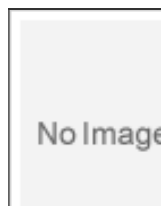
2010:8./ 571p

978-4-10-106501-4

本体 ¥750+税



読売新聞 2020/05/24



武蔵野夫人 改版(新潮文庫 お-6-2)

大岡 昇平 著

新潮社

貞淑で、古風で、武蔵野の精のようなやさしい魂を持った人妻・道子と、ビルマから復員してきた従弟の勉との間に芽生えた悲劇的な愛。武蔵野を舞台に、姦通・虚栄・欲望などをめぐる錯綜した心理模様を描く。

2013:7./ 281p

978-4-10-106502-1

本体 ¥490+税



読売新聞 2020/05/24



氷壁

井上 靖 著

新潮社

ザイルはなぜ切れたのか?人妻との恋に悩む男はなぜ滑落死したのか?親友はその真相を求め、困難な単独行に挑む。恋愛と男の友情を緊密な構成でドラマティックに展開させた名作長篇。2006年 NHK 土曜ドラマ原案。

2005:12./ 517p

978-4-10-302512-2

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2020/05/24



風林火山

井上 靖 著

新潮社

信玄への仇討ちを誓う由布姫と、姫への思慕を胸に川中島の決戦に散りゆく山本勘助。井上文学の金字塔にして、戦国ロマン大河の決定版。2007 年 NHK 大河ドラマ原作。

2006:8./ 285p

978-4-10-302513-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/05/24



えげつない! 寄生生物

成田 聡子 著

新潮社

ゴキブリを奴隷のように仕えさせる宝石バチ、泳げないカマキリを入水自殺させるハリガネムシ…。寄生の中でも、宿主をマインドコントロールし、自己の都合の良いように操る技をもつ選りすぐりの寄生生物たちを紹介する。

2020:3./ 171p,4p

978-4-10-353151-7

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2020/05/24



日中戦後外交秘史～1954年の奇跡～(新潮新書 855)

加藤 徹／林 振江 著

新潮社

1954 年 10 月、羽田空港に降り立った一人の中国人女性。まだ日中に国交がない時代、綱渡りの外交の主人公を務めた李徳全の滞在中の言動は行く先々で熱狂と波紋を呼び、両国間に奇跡が…。戦後史の秘話を丹念に掘り起こす。

2020:3./ 233p

978-4-10-610855-6

本体 ¥780+税



読売新聞 2020/05/24



私の考え(新潮新書 856)

三浦 瑠麗 著

新潮社

人間、迷ったら本音を言うしかない…。「怖がっているだけでは戦争はわからない」「政治家が浮気してもいい」「裏切られることの恐怖」など、政治について、孤独について、人生について、誠実に向き合った思索の軌跡。

2020:4./ 238p

978-4-10-610856-3

本体 ¥780+税



読売新聞 2020/05/24



レイテ戦記<1>(中公文庫 お 2-13)

大岡 昇平 著

中央公論新社

太平洋戦争の天王山・レイテ島での死闘を、膨大な資料を駆使して再現した戦記文学の金字塔。1 は、昭和 19 年 4 月の第 16 師団レイテ島進出から、11 月の米軍カリガラ進出までを収録。講演「レイテ戦記」の意図も掲載。

2018:4./ 434p

978-4-12-206576-5

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2020/05/24



英文法をこわす～感覚による再構築～(NHK 出版新書 621)

大西 泰斗 著

NHK出版

英文法の規則や用法を丸暗記するのではなく、ネイティブの語感をじかに捉える。動詞や冠詞、前置詞、時制などについて、その基本イメージから鮮やかに再構築し、英会話力を身につける方法論を説く。

2020:4./ 241p

978-4-14-088621-2

本体 ¥850+税



読売新聞 2020/05/24



英国貴族の城館

増田 彰久 著
河出書房新社

「ダウントン・アビー」撮影の舞台、英国王室ゆかりの館…。イングランド、スコットランドの名館 42 館を厳選し、邸宅の内部から美術品、インテリアまでを美しい写真とともに紹介。豪華絢爛な英国貴族の住まいがわかる一冊。

2019:12./ 286p
978-4-309-27896-4
本体 ¥15,000+税
* 9 7 8 4 3 0 9 2 7 8 9 6 4 *

読売新聞 2020/05/24



アメリカ哲学史～一七二〇年から二〇〇〇年まで～

ブルース・ククリック 著
勁草書房

国家の発展に影響され、かたちづくられてきたアメリカ哲学。ジョナサン・エドワーズから専門職的な哲学まで、その歴史を政治的・社会的理論との関係も含めて、重層のかつ精緻に描く。

2020:2./ 6p,430p,44p
978-4-326-10279-2
本体 ¥5,400+税
* 9 7 8 4 3 2 6 1 0 2 7 9 2 *

読売新聞 2020/05/24



蜜蜂と遠雷

恩田 陸 著
幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。『星星峡』『ポンツーン』連載を単行本化。

2016:9./ 507p
978-4-344-03003-9
本体 ¥1,800+税
* 9 7 8 4 3 4 4 0 3 0 0 3 9 *

読売新聞 2020/05/24



ソロ～ローツェ南壁～(祥伝社文庫 さ14-4)

笹本稜平 著
祥伝社

新進気鋭のアルパインクライマー奈良原和志は、ヒマラヤ屈指のビッグウォール、ローツェ南壁に単独登攀で挑む。それは心の師であるトモ・チェセンの初登頂の真実を証明するためだった…。本格山岳小説。

2020:4./ 544p
978-4-396-34615-7
本体 ¥870+税
* 9 7 8 4 3 9 6 3 4 6 1 5 7 *

読売新聞 2020/05/24



事件(創元推理文庫 M お 11-1)

大岡 昇平 著
東京創元社

1961 年夏、神奈川県の山林で女性の刺殺体が発見され、19 歳の少年が殺人及び死体遺棄の容疑で逮捕された。最初はどこにでもある、ありふれた殺人のように思われたが…。戦後日本文学の重鎮が描破した不朽の裁判小説。

2017:11./ 550p
978-4-488-48111-7
本体 ¥1,300+税
* 9 7 8 4 4 8 8 4 8 1 1 1 7 *

読売新聞 2020/05/24



安藤忠雄建築を生きる

三宅 理一 著
みすず書房

安藤忠雄の生い立ちから現在までを同時代的背景とともにたどりつつ、住宅、商業施設、教会・寺院、学校・図書館、ミュージアム・劇場ほか種々の建築作品と環境・文化プロジェクトを精緻に読みとく。

2019:12./ 320p
978-4-622-08869-1
本体 ¥3,000+税
* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 8 6 9 1 *

読売新聞 2020/05/24



京大吉田寮

平林 克己、宮西 建礼、岡田 裕子 著
草思社

1913 年に竣工した、現存する日本最古の学生寮・京都大学吉田寮寄宿舍。2017 年に京都大学から耐震性を理由に退舎通告が出され、今後どうなるかわからないという状況の“今”を記録した、写真によるドキュメント。

2019:12./ 1 冊(ペー
ジ付なし)

978-4-7942-2425-5

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/05/24



書評の星座～吉田豪の格闘技本メッタ斬り 2005-2019～

吉田 豪 著
ホーム社

この一冊で格闘技「裏面史」がわかる! ベストセラーから超マニア本まで、名言・迷言揃いの格闘技本 165 冊にプロ書評家・吉田豪が迫る。『ゴング格闘技』書評連載に書き下ろしを追加して書籍化。

2020:2./ 485p

978-4-8342-5336-8

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2020/05/24



ことり(朝日文庫 お52-2)

小川 洋子 著
朝日新聞出版

人間の言葉は話せないけれど、小鳥のさえずりを理解する兄と、兄の言葉を唯一わかる弟。二人は支えあってひっそりと生きていく。やがて兄は亡くなり、弟は「小鳥の小父さん」と人々に呼ばれて…。慎み深い兄弟の一生を描く。

2016:1./ 311p

978-4-02-264803-7

本体 ¥580+税



読売新聞 2020/05/31



人生に効く『菜根譚』

湯浅 邦弘 著
KADOKAWA

「菜根譚」は、今から 400 年ほど前の中国・明の時代に、洪自誠が書いた処世訓の傑作。研究の第一人者が、その魅力を平易なエッセイによって紹介する。混迷の時代を生き抜くために、磨くべき「人格」とは?

2020:5./ 163p

978-4-04-400523-8

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/05/31



屋根屋

村田 喜代子 著
講談社

雨漏りのする屋根の修理にやってきた屋根屋。自在に夢を見られると語る彼の誘いに乗って、「私」は夢のなかの旅へ一緒に出かける。屋根職人と平凡な主婦の奇想天外な空の旅。『群像』連載を単行本化。

2014:4./ 307p

978-4-06-218774-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/05/31



晴れたら空に骨まいて(講談社文庫 か148-1)

川内 有緒 著
講談社

愛する人を喪った人々がたどりついた、自由な弔いの形とは-。セーヌ川にかかる橋、南国の「珊瑚の海」、ヒマラヤの麓…。思い出の地での散骨をテーマに、深いまなざしで「生と死」をユーモラスに綴るノンフィクション。

2020:4./ 391p

978-4-06-518989-4

本体 ¥740+税



読売新聞 2020/05/31



花しぐれ～御薬園同心 水上草介～(集英社文庫 か 63-4)

梶 よう子 著

集英社

御薬園同心・水上草介は、様々な人達の心身を癒やしてきた。更なる礎を築くため、ある想いを秘め歩み出そうとする草介の前に、やっかいな騒動が…。青春時代小説。シリーズ最終巻。

2020:4./ 408p

978-4-08-744098-0

本体 ¥740+税



読売新聞 2020/05/31



学問(新潮文庫 や-34-16)

山田 詠美 著

新潮社

「私ねえ、欲望に忠実なの。愛弟子と言ってもいいね」4人の少年少女たちの、生と性の輝き。いつもそこにある、かすかな死の影。高度成長期の海辺の街を舞台に、若者たちが過ごした時間を官能的な言葉で描く長編小説。

2012:3./ 369p

978-4-10-103626-7

本体 ¥630+税



読売新聞 2020/05/31



この世にたやすい仕事はない(新潮文庫 つ-34-2)

津村 記久子 著

新潮社

隠しカメラを使った小説家の監視、巡回バスのニッチなアナウンス原稿づくり…。社会という宇宙で心震わすマニアックな仕事を巡りつつ自分の居場所を探す、共感と感動のお仕事小説。

2018:12./ 424p

978-4-10-120142-9

本体 ¥670+税



読売新聞 2020/05/31



組長の妻、はじめます。～女ギャング亜弓姐さんの超ワル人生懺悔録～ (新潮文庫 ひ-41-2)

廣末 登 著

新潮社

数十人の荒くれ男たちを従え、警察を屁とも思わず悪事を重ねた関西アウトロー業界“伝説の女”亜弓姐さん。彼女を悪の道から救い出した男は、元ヤクザだった。犯罪史上稀なる女首領に暴力団研究の第一人者が迫る。

2020:4./ 279p

978-4-10-120617-2

本体 ¥590+税



読売新聞 2020/05/31



雪沼とその周辺(新潮文庫)

堀江 敏幸 著

新潮社

0

読売新聞 2020/05/31

2007:7./ 206p

978-4-10-129472-8

本体 ¥490+税



東京島(新潮文庫)

桐野 夏生 著

新潮社

0

読売新聞 2020/05/31

2010:4./ 372p

978-4-10-130636-0

本体 ¥630+税





愛なき世界

三浦 しをん 著
中央公論新社

洋食屋の見習い・藤丸陽太が恋をした本村紗英は、三度の飯よりシロイヌナズナ(葉っぱ)の研究が好き。人生のすべてを植物に捧げる本村に、藤丸は恋の光合成を起こせるのか!? 『読売新聞』連載を加筆・修正し単行本化。

2018:9./ 447p
978-4-12-005112-8
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2020/05/31



持続可能な魂の利用

松田 青子 著
中央公論新社

無職になった 30 代の敬子は、男社会の闇を味わうも、心は裏腹に男が演出する女性アイドルにはまってしまう。敬子は思いがけずこの国の“地獄”を変える“賭け”に挑むことに。『アンデル 小さな文芸誌』他連載を単行本化。

2020:5./ 240p
978-4-12-005306-1
本体 ¥1,500+税

読売新聞 2020/05/31



お父さんは認知症〜父と娘の事件簿〜(中公新書ラクレ 689)

田中 亜紀子 著
中央公論新社

父が認知症になった! 運転をやめるまでの修羅場、気が付いたら家は血の海で父の額は骨…。バブル期に OL 生活を送り、自由を謳歌してきた著者が、人が変わってしまった父との毎日をコミカルにつづった介護奮闘記。

2020:5./ 189p
978-4-12-150689-4
本体 ¥800+税

読売新聞 2020/05/31



母の遺産〜新聞小説〜(中公文庫 み 46-1)

水村 美苗 著
中央公論新社

80 歳を過ぎた母が骨折をして病院に運び込まれたその日、美津紀は夫・哲夫の引き出しから花柄のティッシュ入れを見つけ…。親の介護、夫の浮気、忍び寄り更年期、老後資金の計算。実体験を交えて描く長篇小説。

2015:3./ 314p
978-4-12-206088-3
本体 ¥700+税

読売新聞 2020/05/31



空にみずうみ(中公文庫 さ 78-1)

佐伯 一麦 著
中央公論新社

「あの日」から 4 年。青葉木菟の啼き声や合歓の香り、月の満ち欠け。移りゆく自然とめぐり来る季節が、さりげなく前を向かせてくれる…。東北地方に住む作家・早瀬と染色家・柚子夫婦の、ある 1 年を綴る。

2018:7./ 505p
978-4-12-206611-3
本体 ¥960+税

読売新聞 2020/05/31



空の声

堂場 瞬一 著
文藝春秋

戦後初めて日本が参加する夏季オリンピック、ヘルシンキ五輪に派遣された人気アナウンサー和田信賢は、長年の無理がたたって心身共にボロボロの状態だった。現地から「日本」を鼓舞する中継を懸命に続けるも…。

2020:4./ 337p
978-4-16-391189-2
本体 ¥1,700+税

読売新聞 2020/05/31



対岸の彼女(文春文庫)

角田 光代 著

文芸春秋

女社長の葵と専業主婦の小夜子。二人の出会いと友情は、些細なことから亀裂を生じていくが……。孤独から希望へ、感動の傑作長篇

2007:10./ 334p

978-4-16-767205-8

本体 ¥640+税



読売新聞 2020/05/31



白の闇(河出文庫 サ 6-1)

ジョゼ・サラマーゴ 著

河出書房新社

突然の失明が巻き起こす未曾有の事態。運転中の男から車泥棒、篤実な目医者、美しき娼婦へと、「ミルク色の海」が感染していく…。ノーベル賞作家が「真に恐ろしい暴力的な状況」に挑み、世界を震撼させた長篇。

2020:3./ 421p

978-4-309-46711-5

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2020/05/31



旅する黒澤明～榎田寿文ポスター・コレクションより～

国書刊行会

欧米諸国からアジア各国など世界 30 か国で制作された、貴重な黒澤映画のポスター82点をオールカラーで集成。作品に沿った筆致や大胆で前衛的なポスターデザインとともに、<世界言語>としての黒澤映画を大観できる。

2020:1./ 111p

978-4-336-06543-8

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2020/05/31



怪談に学ぶ脳神経内科

駒ヶ嶺 朋子 著

中外医学社

突然の報い<脳卒中>、かなしばり<睡眠麻痺>…。奈良?大正時代に「時間留学」し、当時の人々にとっての「怪異」を脳神経内科医の眼で検討。疾患についての現代的知識を整理し、病歴を深く読み取ることの大切さを伝える。

2020:4./ 11p,175p

978-4-498-32854-9

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2020/05/31



オオカミの時間～今そこにある不思議集～

三田村信行 著

理論社

<不思議>は、いつだって、日常世界の裏側にぴたりとはりついている。<不思議>は、意識すればとらえることができるはず。三田村信行と佐々木マキのコンビによる不思議作品集。

2020:3./ 253p

978-4-652-20366-8

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/05/31



貴族日記が描く京(みやこ)の災害

片平 博文 著

思文閣出版

平安・鎌倉期の貴族の日記から平安京の季節災害とその要因(火事、洪水、旱魃、台風)を抽出し、文字情報を歴史地理学的手法で空間情報に置き換えて視覚化。日記をただ読むだけでは見えてこない平安京の姿を浮かび上がらせる。

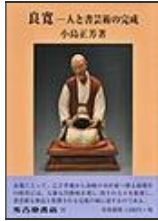
2020:4./ 10p,401p

978-4-7842-1984-1

本体 ¥5,000+税



読売新聞 2020/05/31



良寛～人と書芸術の完成～

小島 正芳 著

考古堂書店

その生涯も芸術も円熟味を増していった晩年の良寛が阿部家所蔵の「万葉和歌集」をどのように学んでいったかを、史料をもとに詳細に描く。「若き良寛の肖像」「良寛その人と書<五合庵時代>」に続く書。

2020:5./ 247p

978-4-87499-884-7

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/05/31



縁起のよい樹と日本人

有岡 利幸 著

八坂書房

吉祥の王道・松竹梅、お金にまつわる縁起木、難を転じて福となす南天、厄を除けるヒイラギ、不老長寿の桃、毒があるのに紅白花が好まれるキョウチクトウとツツジ…。植物文化史の第一人者が日本の縁起のよい樹木を語る。

2020:3./ 207p

978-4-89694-271-2

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2020/05/31



タコの知性～その感覚と思考～(朝日新書 761)

池田 譲 著

朝日新聞出版

地球上で最も賢い生物の一種である「タコ」。注目の「タコ学」研究者が、タコの社会性、感情・愛情表現など知られざる知性を解説。通説を覆す最新知見を提示しつつ、生物の神秘や知性の奥深さを探る。

2020:4./ 247p

978-4-02-295066-6

本体 ¥810+税



日本経済新聞 2020/05/02



危機感なき茹でガエル日本～過去の延長線上に未来はない～

小林 喜光、経済同友会 著

中央公論新社

世界中を覆う大変革から取り残されているという危機感が希薄な日本。改革を先導し行動する経営者の集団・経済同友会が、冷静に現状を分析し、この難局を切り拓くための道筋を提言する。

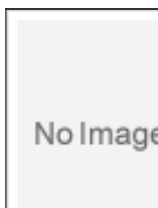
2019:3./ 203p

978-4-12-005180-7

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2020/05/02



都市廻廊～あるいは建築の中世主義～(中公文庫)

長谷川 堯 著

中央公論新社

0

1985:7./ 423p

978-4-12-201238-7

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2020/05/02



EBPMの経済学～エビデンスを重視した政策立案～

大橋 弘 編

東京大学出版会

「エビデンスを重視する政策形成(EBPM)」に対する関心が国内外で高まっている。教育、労働、医療など6つ政策分野において、経済学者と現役の政策立案者がペアとなり、EBPMに求められる取り組みを論じる。

2020:3./ 12p,359p

978-4-13-040291-0

本体 ¥4,800+税



日本経済新聞 2020/05/02



注文の多い料理小説集(文春文庫 ゆ 9-51)

柚木 麻子／伊吹 有喜／井上 荒野／坂井 希久子／中村 航／深緑 野分／柴田
よしき 著

文藝春秋

最高級の鮭&ワイン、鮪の山かけと露の薑の味噌汁、カリッカリに焼いたベーコンにロシア風ピクルス。おやつに金平糖はいかが？ 小説の名手たちが「料理」をテーマに紡いだ短編小説 7 篇を収録。『オール讀物』掲載を文庫化。

2020:4./ 253p

978-4-16-791481-3

本体 ¥650+税



日本経済新聞 2020/05/02



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

アフリカでほそぼそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

2016:9./ 267p

978-4-309-22671-2

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2020/05/02



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか？その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

2016:9./ 294p

978-4-309-22672-9

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2020/05/02



ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

人類は不死と幸福、神性を目指し、神のヒト「ホモ・デウス」へと自らをアップグレードする。そのとき、富む者と貧しい者との格差は、創造を絶するものとなる。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

2018:9./ 265p

978-4-309-22736-8

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2020/05/02



ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<下>

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

生物はただのアルゴリズムであり、コンピューターが人類のすべてを把握する。生物工学と情報工学の発達によって、資本主義や民主主義、自由主義は崩壊し…。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

2018:9./ 284p

978-4-309-22737-5

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2020/05/02



21 Lessons～21 世紀の人類のための 21 の思考～

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

“知の巨人”が、テクノロジーや政治をめぐる難題から、この世界における真実、そして人生の意味まで、人類が直面している 21 の重要テーマを厳選。正解の見えない今の時代に、どのように思考し行動すべきかを問う。

2019:11./ 466p

978-4-309-22788-7

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/05/02



心とカラダを整えるおとなのための 1 分音読

山口 諤司 著

自由国民社

気持ちが落ち着く、やる気が出る、脳が活性化されるなど、さまざまな効果が期待できる音読のすすめ。小説や随筆から、詩、短歌まで、1 分を目安に読むことができるバラエティーに富んだ文章を掲載。

2017:12./ 127p

978-4-426-12388-8

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2020/05/02



タルピオット～イスラエル式エリート養成プログラム～

石倉 洋子／Naama Rubenchik 著

日本経済新聞出版社

「第 2 のシリコンバレー」と呼ばれ、注目を集めるイスラエルのイノベーションを生むための秘密は軍隊にあった。精鋭部隊と名高い「タルピオット」で行われているプログラムを公開する。注目の起業家へのインタビューも掲載。

2020:3./ 207p

978-4-532-32334-9

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2020/05/02



中国の海洋強国戦略～グレーゾーン作戦と展開～

アンドリュー・S・エリクソン／ライアン・D・マーティンソン 編

アンドリュー・S・エリクソン／ライアン・D・マーティンソン 著

原書房

米国海軍大学の中国海事研究所での会議の成果をまとめた書。東シナ海・南シナ海に展開する準備軍「中国海警局」や「中国海上民兵」の実態から、係争海域の実効支配を視野に入れた展開までを分析・詳述する。

2020:3./ 385p

978-4-562-05745-0

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2020/05/02



五十八歳、山の家で猫と暮らす

平野 恵理子 著

垂紀書房

母を亡くして始めた山での暮らし。虫との邂逅、鳥の来訪、庭造り、厳冬ならではの妙。人気イラストレーター・平野恵理子が、四季を追いかけてながら、ひっそり愉快地、ひとりを楽しむ日々を綴る。

2020:3./ 223p 図版

16p

978-4-7505-1639-4

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2020/05/02



自由なき世界～フェイクデモクラシーと新たなファシズム～<上>

池田 年穂 編

ティモシー・スナイダー 著

慶應義塾大学出版会

ロシアはなぜクリミアに侵攻したのか。法の支配を無効化し、民主主義を混乱に陥れる「永遠の政治」。純潔無垢なるロシアの復活を唱え、EU の破壊を画策するプーチンの思想に鋭くメスを入れ、右傾化する世界の実態を捉える。

2020:3./ 227p,38p

978-4-7664-2665-6

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2020/05/02



自由なき世界～フェイクデモクラシーと新たなファシズム～<下>

池田 年穂 編

ティモシー・スナイダー 著

慶應義塾大学出版会

相次ぐ右派政権の誕生、イギリスの EU 離脱、トランプ大統領誕生…。西側を結束させてきた民主主義の価値観は、なぜ動揺し、世界は混乱しているのか。民主主義や法による支配を脅かす、新たなファシズムの台頭に警鐘を鳴らす。

2020:3./ 190p,50p

978-4-7664-2666-3

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2020/05/02



戦国、まずい飯!(インターナショナル新書 048)

黒澤 はゆま 著

集英社インターナショナル

生米を水に浸すよう指示した徳川家康、?油が欲しいと言って叱られた井伊直政、逃避行中に雑草を食べた真田信之…。さまざまな文献を渉猟し、戦国の食にまつわる面白エピソードを紹介。文献に登場する料理も再現し実食する。

2020:2./ 221p

978-4-7976-8048-5

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2020/05/02



一人っ子政策と中国の社会

小浜 正子 著

京都大学学術出版会

中国の社会構造を大きく変えた一人っ子政策。大胆な「計画出産」は社会を揺るがせ、女性の地位を大きく変えた。「圧縮された近代」の隣人たちが経験した、リプロダクティブ・ヘルス&ライツの変貌を鋭く分析する。

2020:2./ 9p,380p

978-4-8140-0262-7

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2020/05/02



蚕と戦争と日本語～欧米の日本理解はこうして始まった～

小川 誉子美 著

ひつじ書房

日本語を学ぶ目的は、蚕にあり-。16 世紀に来日した西洋人の日本語学習をとりあげ、推進の背景と学習成果にスポットを当てながら、16 世紀から 20 世紀半ばまでの史実を、8 つのトピックのもとで紹介する。

2020:2./ 9p,413p

978-4-8234-1031-4

本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2020/05/02



美の進化～性選択は人間と動物をどう変えたか～

リチャード・O・プラム 著

白揚社

メスが美的感覚をもとに配偶者を選び、オスを改造していく-。世界的鳥類学者が、美の進化に対するダーウィンの考え方を紹介。華麗な鳥の羽から人間の同性愛まで、従来の進化論では解き明かせない美と性の謎に切り込む。

2020:2./ 462p 図版

16p

978-4-8269-0216-8

本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2020/05/02



歌え、葬られぬ者たちよ、歌え

ジェスミン・ウード 著

作品社

13 歳の黒人少年ジョジョと、心が通い合わない彼の母親レオニ。人種差別、階級格差、貧困の蔓延、ドラッグと民営化された監獄、憎悪による暴力の連鎖…。アメリカ南部で困難を生き抜く家族の絆を描いた傑作長篇小説。

2020:3./ 317p

978-4-86182-803-4

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2020/05/02、産経新聞 2020/05/17



<?>の政治史～生真面目な社会の不真面目な政治～(中公選書 105)

五百旗頭 薫 著
中央公論新社

世界中の政治に横行する<?>。日本にも独自の<?>がある。反対勢力があるから、それを迂回するために?が必要となり、反対する側も?を武器にする。日本の政治文化の起源を辿り、現代地域社会の抱える問題まで論じ抜く。

2020:3./ 14p,250p
978-4-12-110105-1
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/05/02、読売新聞 2020/05/03



誤作動する脳(シリーズケアをひらく)

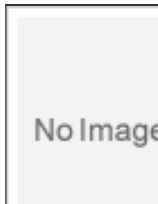
樋口 直美 著
医学書院

記憶障害、幻覚、時間意識の低下…。50歳でレビー小体型認知症の診断を受けた著者が、たびたび誤作動する自身の脳について綴る。ウェブマガジン『かんかん!』連載を大幅加筆。テキストデータ引換券付き。

2020:3./ 248p
978-4-260-04206-2
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/05/02、毎日新聞 2020/05/02



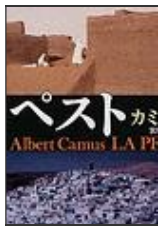
桜史(講談社学術文庫)

山田孝雄、山田忠雄 著
講談社
0

1990:3./ 504p
978-4-06-158916-2
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/05/09



ペスト 改版(新潮文庫)

カミュ 著
新潮社
0

2004:1./ 476p
978-4-10-211403-2
本体 ¥750+税



日本経済新聞 2020/05/09



不戦条約～戦後日本の原点～

牧野 雅彦 著
東京大学出版会

1928年、世界史上はじめて国家間の戦争が否定された叡知の結晶「不戦条約」。日本国憲法第9条の淵源ともされる国際条約の成立過程に迫り、関係各国の交錯の立体的な描写を通じて、その全体像を明らかにする。

2020:3./
10p,270p,11p
978-4-13-030168-8
本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2020/05/09



正義の行方～ニューヨーク連邦検事が見た罪と罰～

ブリート・バララ 著
早川書房

司法権の独立を守るため、トランプ大統領と闘い罷免された元敏腕検事による回顧録。格差と分断がひろがる社会で、司法の立場から、ひとりの人間として、「正義とは何か」「正義はどこへ向かうのか」と真摯に問いかける。

2020:3./ 412p
978-4-15-209931-0
本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2020/05/09



地に這うものの記録

田中 慎弥 著

文藝春秋

再開発計画に揺れる駅前ビルに突如現れたのは、1匹の喋るクマネズミ! 市議会議員の浦田さんの助けを得ながら人間たちの世界に飛び込み、ついには市議会で大演説をぶつことに…。『文藝界』連載を単行本化。

2020:3./ 395p

978-4-16-391183-0

本体 ¥2,250+税



日本経済新聞 2020/05/09



果てなき便り(文春文庫 つ 3-15)

津村 節子 著

文藝春秋

長い苦節の時代、家族と遠く離れ孤独に苛まれる取材の旅、そして、妻への最後の手紙となった遺書-。作家・吉村昭から愛する女性=妻への、妻から夫への手紙の東百余通を紹介する。

2020:4./ 239p

978-4-16-791483-7

本体 ¥720+税



日本経済新聞 2020/05/09



モバイルメディア時代の働き方～拡散するオフィス、集うノマドワーカー～

松下 慶太 著

勁草書房

生産性向上や効率化という題目で導入されたものがワーカーやワークプレイスの「場」においてどのように実践され、変容しているのか。ワーカー達の観察可能な振る舞いや「場」の使われ方についての質的データに基づき考察する。

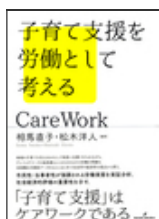
2019:7./ 10p,254p

978-4-326-55082-1

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2020/05/09



子育て支援を労働として考える～Care Work～

相馬 直子／松木 洋人 編

勁草書房

保育労働と地域子育て支援労働を総称する「子育て支援労働」という概念を打ち立て、社会経済的視点から支援従事者の労働と身分保障の問題を考える。さらに、子育て支援をめぐる労働実態を、データをもとに明らかにする。

2020:2./ 4p,225p

978-4-326-60327-5

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2020/05/09



あなたのいるところが仕事場になる～「経営」「ワークスタイル」「地域社会」が一変するテレワーク社会の到来～

森本 登志男 著

大和書房

「オフィス」中心から「人」中心の働き方へ。「地方」「企業」「働き手」の3つの立場が違う視点から、テレワークの必要性和その効果について掘り下げる。テレワークで効果を上げている先進事例や、導入への道筋なども紹介。

2017:7./ 286p

978-4-479-79605-3

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/05/09



科学の最前線を切りひらく!(ちくまプリマー新書 347)

川端 裕人 著

筑摩書房

科学は何を解明できるのか? 古代の巨大恐竜から、最新の脳科学の世界まで。多彩な分野をリードする科学者6名が、その知的到達点を語る。ナショナルジオグラフィック日本版公式サイト連載をもとに書籍化。

2020:3./ 299p

978-4-480-68372-4

本体 ¥940+税



日本経済新聞 2020/05/09



無の国の門～引き裂かれた祖国シリアへの旅～

サマル・ヤズベク 著

白水社

内戦下のシリア。祖国を逃れた作家が一時帰還し、絶え間ない爆撃の下、反体制派の人々の間で暮らしながら、同胞たちを訪問し、それぞれの苦悩と挫折に耳を傾け…。記録する行為を通じて内戦という過酷な現実と向き合う労作。

2020:3./ 294p

978-4-560-09754-0

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2020/05/09



「食べる」が変わる「食べる」を変える～豊かな食に殺されないための普通の方法～

ビー・ウィルソン 著

原書房

喫煙や飲酒より「食」に由来する死因が多い現代人。豊かさゆえの食の乱れの構造を検証しながら、「普通に食べる」ことの大切さを、世界的なフードジャーナリストが模索する。

2020:2./ 420p

978-4-562-05723-8

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2020/05/09



暴落～金融危機は世界をどう変えたのか～<上>

アダム・トゥーズ 著

みすず書房

グローバル時代初の金融危機について、全世界にわたる危機前史とその破壊的影響を壮大に描く。上は、サブプライム危機の前史から、リーマンショックをはじめとする金融危機の勃発、オバマ政権による刺激プログラムまでを扱う。

2020:3./

10p,370p,46p

978-4-622-08874-5

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2020/05/09



暴落～金融危機は世界をどう変えたのか～<下>

アダム・トゥーズ 著

みすず書房

グローバル時代初の金融危機について、全世界にわたる危機前史とその破壊的影響を壮大に描く。下は、ギリシャ経済危機、ソブリン危機の欧州全域への拡大、ウクライナ危機、トランプ大統領の誕生から、2017 年までを扱う。

2020:3./ p373?757

50p

978-4-622-08875-2

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2020/05/09



触発するゴフマン～やりとりの秩序の社会学～

渡辺 克典 編

新曜社

第二次世界大戦後の社会学に、新たな地平を切り開いた「異才の」社会学者、アーヴィング・ゴフマン。ゴフマンのエスノグラフィーの方法論の特徴とその成果を、具体的なデータ分析を用いて明らかにする。

2015:6./ 12p,285p

978-4-7885-1431-7

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2020/05/09



言葉の森から出られない～言語学のよろこび～

中村 幸一 著

明治大学出版会

言語は民主主義で、誰かが強制できるものではないであろう。多くの言語を学習してきた言語学者が、日々目にし、耳にする文字、言葉、韻律、会話に導かれ、言葉の深い森を彷徨する。

2020:4./ 261p

978-4-906811-28-1

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/05/09



アナザー1964～パラリンピック序章～

稲泉 連 著

小学館

五輪とともにパラリンピックが開かれることになったのは約 1 年前。傷痍軍人や障害者らは突如「選手」として大会を目指すことになり…。選手たちのインタビューのほか、美智子妃、中村裕医師など大会を支えた人々の奮闘を描く。

2020:3./ 303p

978-4-09-388740-3

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/05/09、産経新聞 2020/05/31



新写真論～スマホと顔～(ゲンロン叢書 005)

大山 顕 著

ゲンロン

自撮りから、ドローン、ウェアラブル、顔認証、香港のデモまで。写真を変えるあらゆる話題を横断し、工場写真の第一人者が辿り着いた、スリリングな人間=顔=写真論。『ゲンロン β』連載に書き下ろしを追加して書籍化。

2020:3./ 310p

978-4-907188-35-1

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/05/09、東京・中日新聞 2020/05/16、朝日新聞 2020/05/16



エリザベス女王～史上最長・最強のイギリス君主～(中公新書 2578)

君塚 直隆 著

中央公論新社

1952 年に 25 歳で英国の王位に即いたエリザベス女王。カナダ、オーストラリアなど 16 カ国の元首でもある彼女は、数多くの事件に遭遇し、政治にも関与してきた。イギリス現代史をたどりながら、女王の人生を描く。

2020:2./ 6p,288p

978-4-12-102578-4

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/05/09、読売新聞 2020/05/10



砂時計の書(講談社学術文庫)

エルンスト・ユンガー 著

講談社

0

1990:3./ 269p

978-4-06-158917-9

本体 ¥777+税



日本経済新聞 2020/05/16



ハゲタカ<上>(講談社文庫 ま 54-8)

真山 仁 著

講談社

ニューヨークの投資ファンド社長・鷺津政彦はバブル崩壊後の日本に戻り、瀕死状態の企業を斬新な手法で次々と買収・再生していった。

2013:9./ 486p

978-4-06-277652-3

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2020/05/16



ハゲタカ<下>(講談社文庫 ま 54-9)

真山 仁 著

講談社

企業再生が軌道に乗り始めた頃、鷺津は元銀行員・芝野健夫、老舗ホテルオーナーの娘・松平貴子と出会う。日本に戻った鷺津の真意は？

2013:9./ 431p

978-4-06-277653-0

本体 ¥750+税



日本経済新聞 2020/05/16



毎日が日曜日 改版(新潮文庫)

城山 三郎 著
新潮社
0

日本経済新聞 2020/05/16

2002:5./ 652p

978-4-10-113310-2

本体 ¥890+税



台湾研究入門

若林 正丈／家永 真幸 編
東京大学出版会

重層的な移民が作り上げた活気に満ちた社会、台湾。日台の幅広い年齢層の研究者が、政治・経済・社会・文化・歴史など、それぞれが得意とする台湾理解のキーワードを解説する。

日本経済新聞 2020/05/16

2020:3./

23p,365p,30p

978-4-13-036277-1

本体 ¥3,900+税



大本営参謀の情報戦記～情報なき国家の悲劇～(文春文庫)

堀 栄三 著
文芸春秋

太平洋戦中は大本営情報参謀として米軍の作戦を次々と予測的中させて名を馳せ、戦後は自衛隊情報室長を務めた著者が稀有な体験を回顧し、情報に疎い組織の欠陥を衝く。

日本経済新聞 2020/05/16

1996:5./ 348p

978-4-16-727402-3

本体 ¥650+税



なぜ倒産<平成倒産史編> 社長の告白で迫る失敗学

帝国データバンク、東京商工リサーチ、日経トップリーダー 編
帝国データバンク、東京商工リサーチ 著

日経BP社

ナイジェリア詐欺、まさかの2度倒産、粉飾の連鎖と急死…。平成の30年間で倒産した中堅・中小企業24社の事例分析から、時代を超える「失敗の教訓」を引き出す。『日経トップリーダー』連載を基に書籍化。

日本経済新聞 2020/05/16

2019:8./ 327p

978-4-296-10332-4

本体 ¥1,600+税



世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか?～経営における「アート」と「サイエンス」～(光文社新書 891)

山口 周 著
光文社

世界的に高名な美術系大学院に幹部候補を送り込むグローバル企業、早朝のギャラリートークに参加している知的専門職の人たち…。彼らはいったい何を求めているのか? 世界のエリートがなぜ「美意識」を鍛えるのかに迫る。

日本経済新聞 2020/05/16

2017:7./ 257p

978-4-334-03996-7

本体 ¥760+税



未来を予見する「5つの法則」～弁証法的思考で読む「次なる変化」～

田坂 広志 著
光文社

未来は「予測」できない。しかし「予見」はできる。鍵は、弁証法的思考。いま、アメリカとヨーロッパで注目されている日本発の「知の技法」。世界の未来が見えてくる。

日本経済新聞 2020/05/16

2008:9./ 237p

978-4-334-97546-3

本体 ¥1,600+税





女であるだけで

ソル・ケー・モオ 著

国書刊行会

夫を誤って殺した女が語った回想から浮かび上がったのは、理不尽で困難な事実の数々…。マヤ語先住民女性作家が、「社会的正義」をテーマに、ツォツィル族先住民女性の夫殺しと恩赦を、法廷劇的手法で描いたフェミニズム小説。

2020:2./ 246p

978-4-336-06565-0

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/05/16



未知の鳥類がやってくるまで

西崎 憲 著

筑摩書房

制服なのだろうか、不思議な形の襟の、白と紺の幾何学的な服、数式のようなと思ったのはその服のせいかもしれない…。書下ろしの表題作をはじめ、SF 的・幻想的・審美的味わいの作品など、全 10 作を収録した短篇集。

2020:3./ 220p

978-4-480-80494-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/05/16



社外取締役の兵法〜グッドガバナンスの実践〜

チャールズ D. レイクII 著

日本経済新聞出版社

社外取締役はどのような知識、素養を身につけていなければならないか。企業の「戦い」の中で適切な判断を下すための「兵法」とは何か。社外取締役、そして経営者として活躍する著者が、その知識・ノウハウを明らかにする。

2020:3./ 317p

978-4-532-13499-0

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2020/05/16



統計の歴史

オリヴィエ・レイ 著

原書房

国力の測定、出生率、伝染病の死者数、労働環境の改善、進化論の発達、文学・芸術との対立…。形ないものに形を与え、把握、比較、分析するのに便利なツール、統計。あらゆるものに影響を与えてきた統計の歴史をひもとく。

2020:3./ 300p

978-4-562-05741-2

本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2020/05/16



ルポ デジタルチャイナ体験記(PHP ビジネス新書 413)

西谷 格 著

PHP研究所

AI ロボットが対応する「アリババホテル」、アプリで注文する「カバさんスーパー」、借りパク 0 の「シェアリング傘」…。 “世界最強” の IT 国家・中国の、あらゆるデジタル技術を使い倒してみた体験記。

2020:3./ 206p

978-4-569-84582-1

本体 ¥830+税



日本経済新聞 2020/05/16



刃物たるべく〜職人の昭和〜

土田昇 著

みすず書房

昭和から平成は、通り過ぎてきた時代は、手でものを作る人々に何を残したのか。驚異的な技術と視線の清明さを持ちつつ、無名性の中にただ生きた職人たちの姿を描く。

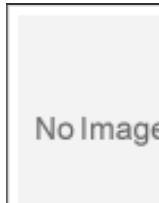
2020:4./ 4p,303p

978-4-622-08892-9

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2020/05/16



起業の条件〜Juliana's〜(Ryu Selection)

折口 雅博 著

経済界

ジュリアナ東京、ヴェルファーレと、独自の感覚で若者文化をとらえ、ビジネスチャンスをつかんできた男が、初めて、その屈辱と復活の軌跡、鋭いビジネス感覚の秘密、起業家として勝ち続けるための条件を語る。

1997:2./ 213p

978-4-7667-8136-6

本体 ¥1,359+税



日本経済新聞 2020/05/16



宇宙が味方する経営

伊藤 忠彦 著

講談社インターナショナル

破綻寸前の銀行を奇蹟的に他に類を見ない優良行にした現役頭取が、初めて明かす成功の奥義。運命の大きな流れをつかみ、会社を、人生を成功に導く思いもかけない方法がここにある。

2006:10./ 254p

978-4-7700-4060-2

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2020/05/16



砂と人類〜いかにして砂が文明を変容させたか〜

ヴィンス・バイザー 著

草思社

世界で最も重要な固体・砂は、現代文明の土台をなす物質である。人類が砂なしで生きていけなくなるまでに、なにがあったのか。文明を支える砂よりも頑丈な土台はあるのか。一粒の砂から、人類社会の全体像を浮かび上がらせる。

2020:3./ 399p

978-4-7942-2444-6

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/05/16



椿井文書〜日本最大級の偽文書〜(中公新書 2584)

馬部 隆弘 著

中央公論新社

中世の地図、失われた大伽藍や城の絵図、合戦に参陣した武将のリスト、家系図... 貴重な史料として活用されてきた文書は偽文書だった! 近畿一円に流布し、現在も影響を与え続ける数百点にも及ぶ「椿井文書」の全貌に迫る。

2020:3./ 2p,257p

978-4-12-102584-5

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/05/16、朝日新聞 2020/05/23



障害者差別を問いなおす(ちくま新書 1489)

荒井 裕樹 著

筑摩書房

何が差別とされてきたのか、それに対していかに異議を唱えたか。多様性が叫ばれる一方で、実際にはマイノリティへの不寛容な価値観が噴出するなか、あらためて障害者差別に向き合い、人間の尊厳に迫る。

2020:4./ 254p

978-4-480-07301-3

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2020/05/16、東京・中日新聞 2020/05/31



2060 未来創造の白地図〜人類史上最高にエキサイティングな冒険が始まる〜

川口 伸明 著

技術評論社

2030 年から 2060 年ごろまでの近未来、テクノロジーによって、生活や働き方がどう変わるか。科学技術的エビデンスを集めて、実現可能性の高い未来を描き出す。2019 年末までの技術動向もまとめる。

2020:3./ 461p

978-4-297-11159-5

本体 ¥2,380+税



日本経済新聞 2020/05/16、読売新聞 2020/05/31



芝居とその周辺(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション)

井上 ひさし 著

岩波書店

新聞・雑誌等で好評を得ながら、まだ著書に収められていないエッセイをテーマ別の3冊に編む。「芝居とその周辺」には、“芝居”をテーマに、同時代を生きた演劇人との交友や、自作をめぐるエッセイを収録。

2020:5./ 9p,191p

978-4-00-028149-2

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/05/23



振仮名の歴史(岩波現代文庫 文芸 318)

今野 真二 著

岩波書店

「日本書紀」の読み下しから夏目漱石の直筆原稿、サザンオールスターズの歌詞、漫画のふきだしまで、日本語の文章表現を彩ってきた、もうひとつの主役は振仮名だった! 最強かつ饒舌なサポーター・振仮名の謎を解き明かす。

2020:3./ 8p,233p

978-4-00-602318-8

本体 ¥1,040+税



日本経済新聞 2020/05/23



自分をコントロールする力～非認知スキルの心理学～(講談社現代新書 2551)

森口 佑介 著

講談社

人生の成功を左右する「非認知スキル」。そのなかでも重要な「自分をコントロールする力(実行機能)」は、どのように身につく、どんなときに働かなくなるのか。発達心理学の最新知見から、その育て方・鍛え方を公開する。

2019:11./ 230p

978-4-06-517919-2

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/05/23



最後の社主～朝日新聞が秘封した「御影の令嬢」へのレクイエム～

榎田 毅 著

講談社

創業者・龍平の孫として生まれ、116万もの朝日新聞株を保有した3代目社主・村山美知子。その晩年、彼女の秘書役となり、経営陣と村山家との闘いの最終局面に立ち会った著者が、朝日新聞最大のタブーに迫る。

2020:3./ 307p

978-4-06-519632-8

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/05/23



バーテンダーの流儀(集英社新書 1017)

城 アラキ 著

集英社

ホテルのバーに「扉」がない理由は何か。「最初一杯」は何を頼むのがベストか。バーを愉しむコツを、ユーモアを交え豊富なエピソードを通して伝授する。厳選 BAR リスト100も収録。

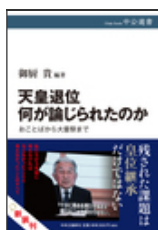
2020:4./ 220p

978-4-08-721117-7

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2020/05/23



天皇退位何が論じられたのか～おことばから大嘗祭まで～(中公選書 104)

御厨 貴 著

中央公論新社

2016年7月のNHKのスクープと翌月の天皇ビデオメッセージから3年余。その間、天皇退位について語られ、論じられた、新聞・雑誌掲載の記事・論文・対談等を集成。編著・御厨貴によるコメント、コラムも掲載する。

2020:3./ 7p,406p

978-4-12-110104-4

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/05/23



外交を記録し、公開する～なぜ公文書管理が重要なのか～

服部 龍二 著
東京大学出版会

外交文書はいかに記録・保存・公開されてきたのか。明治から現在まで、外交文書の記録・保存と公開の制度を通史的に分析し、公文書のあり方を問い未来を展望する。

日本経済新聞 2020/05/23

2020:4./ 7p,257p
978-4-13-030169-5
本体 ¥3,900+税



手鎖心中(文春文庫)

井上 ひさし 著
文芸春秋

材木問屋の若旦那、栄次郎は、絵草紙の人気作家を志すあまり、馬鹿馬鹿しい騒ぎを起こして...歌舞伎にもなった直木賞受賞の傑作

日本経済新聞 2020/05/23

2009:5./ 260p
978-4-16-711127-4
本体 ¥590+税



EdTech が変える教育の未来～Education×Technology～

佐藤 昌宏 著
インプレス

「教室」がなくなる! 子どもたちの未来が変わる! デジタルテクノロジーを活用した教育のイノベーション「EdTech」が持つ未来の可能性や、多様な学びの選択肢を紹介。国内外の実践例、文科省・経産省の動きも解説。

日本経済新聞 2020/05/23

2018:10./ 223p
978-4-295-00451-6
本体 ¥1,600+税



日本人のためのイスラエル入門(ちくま新書 1484)

大隅 洋 著
筑摩書房

建国後わずか 70 年で最先端技術大国の地位を確立したイスラエルは、古代から続くユダヤの伝統を大切にしながら、なぜイノベーションを起こし続けられるのか。現役外交官がイスラエルを縦横無尽に語り尽くす。

日本経済新聞 2020/05/23

2020:3./ 237p
978-4-480-07303-7
本体 ¥820+税



AI vs.教科書が読めない子どもたち

新井 紀子 著
東洋経済新報社

気鋭の数学者が AI の誤解や限界を示す一方で、大規模な調査の結果わかった日本人の読解力の低下を指摘。AI 化が進んだ未来の行き着く先の最悪のシナリオと教育への提言を導き出す。

日本経済新聞 2020/05/23

2018:2./ 287p
978-4-492-76239-4
本体 ¥1,500+税



フードバリューチェーンが変える日本農業

大泉 一貫 著
日本経済新聞出版社

日本農業の生産性をあげ、成長軌道に乗せる鍵は、食と連携するフードチェーン農業にある。食品産業との連携や農業の成長産業化を主導してきた著者が、先進経営の紹介と統計分析で農業のこれからの 10 年を描く。事例も満載。

日本経済新聞 2020/05/23

2020:3./ 266p
978-4-532-32332-5
本体 ¥1,800+税





レアメタルの地政学～資源ナショナリズムのゆくえ～

ギョーム・ピトロン 著

原書房

レアメタルをめぐる各国の思惑、グリーンエネルギー政策の暗部、中国次第で揺れる市場…。レアメタル地政学の権威が、いまや産業・生活に欠かせないレアメタルをめぐる状況と問題を、政治や外交など様々な観点から掘り起こす。

日本経済新聞 2020/05/23

2020:2./ 248p

978-4-562-05737-5

本体 ¥2,000+税



古代人と夢(平凡社ライブラリー)

西郷信綱 著

平凡社

0

日本経済新聞 2020/05/23

1993:6./ 245p

978-4-582-76001-9

本体 ¥1,200+税



スパイダー・ネットワーク～金融史に残る詐欺事件-LIBOR スキャンダルの全内幕～

デイヴィッド・エンリッチ 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

市場崩壊の陰にあった、天才トレーダーによる金利不正操作事件。東京を舞った数千億ドルのマネーゲームと、膨張する巨額報酬の裏側とは-。LIBOR(ロンドン銀行間取引金利)を悪用した大規模な詐欺の全容を描き出す。

日本経済新聞 2020/05/23

2020:3./ 471p,6p

978-4-596-55153-5

本体 ¥2,800+税



もうダメかも～死ぬ確率の統計学～

マイケル・ブラストランド／デイヴィッド・シュピーゲルホルター 著

みすず書房

人生の華奢な1年目のハザードは、地球1周以上の距離をバイクで走るのと同じ-。予防接種、ギャンブル、交通機関、失業などにおけるあらゆる死の確率を「マイクロモート」概念で分析。ストーリー形式で解説するリスク大全。

日本経済新聞 2020/05/23

2020:4./ 366p,27p

978-4-622-08888-2

本体 ¥3,600+税



ROBOT-PROOF～AI時代の大学教育～

ジョセフ・E・アウン 著

森北出版

AIとロボットの時代に、大学は何を提供するのか。いかにして、AI化・ロボット化した社会・経済を闊歩できる人材、「ROBOT-PROOF」な卒業生を輩出するか。大学改革の旗手が高等教育の新たな役割を提言する。

日本経済新聞 2020/05/23

2020:1./ 3p,198p

978-4-627-97521-7

本体 ¥2,400+税



ウェブスター辞書あるいは英語をめぐる冒険

コーリー・スタンパー、鴻巣 友季子、竹内 要江、木下 眞穂、ラッシャー貴子、手嶋 由美子、井口 富美子 著

左右社

“bitch”は侮蔑語か? アメリカで最も歴史ある辞書出版社、メリアム・ウェブスターの編集者が言葉の謎をとく。一語一語と向き合い、格闘する、知られざる辞書編纂の世界とその秘密を明かす。

日本経済新聞 2020/05/23、産経新聞 2020/05/31

2020:4./ 355p

978-4-86528-256-6

本体 ¥2,700+税





社会とことば(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション)

井上 ひさし 著
岩波書店

新聞・雑誌等で好評を得ながら、まだ著書に収められていないエッセイをテーマ別の3冊に編む。「社会とことば」には、吉里吉里人、コメ、憲法、原発など社会的なテーマと、生涯こだわり続けた言葉をめぐるエッセイを収録。

2020:4./ 9p,186p
978-4-00-028148-5
本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2020/05/23、読売新聞 2020/05/31



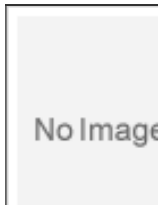
『井上ひさし』を読む～人生を肯定するまなざし～(集英社新書 1014)

小森 陽一／成田 龍一 編
今村 忠純／島村 輝／大江 健三郎／辻井 喬／永井 愛／平田 オリザ 著
集英社

多彩な活躍を見せた作家・井上ひさしの没後10年に際し、大江健三郎、辻井喬、平田オリザら一流の創作者たちが集い、生前の交流を明かしながら、その作品について語り合った論考集。『すばる』掲載をもとに新書化。

2020:3./ 334p
978-4-08-721114-6
本体 ¥980+税

日本経済新聞 2020/05/23、読売新聞 2020/05/31



吉里吉里人<上巻>(新潮文庫)

井上 ひさし 著
新潮社
0

1985:9./ 501p
978-4-10-116816-6
本体 ¥790+税

日本経済新聞 2020/05/23、日本経済新聞 2020/05/23



秘本大岡政談～井上ひさし傑作時代短篇コレクション～(ちくま文庫 い20-17)

井上 ひさし 著
筑摩書房

時代小説にも多くの名作を残した井上ひさしの単行本未収録作品を中心とした短篇集。江戸城の御文庫で古今東西の判例を調べ上げ、「裁き」の根拠を決める町奉行大岡忠相の姿を書物奉行の視点から描く表題作などを収録。

2020:4./ 351p
978-4-480-43661-0
本体 ¥900+税

日本経済新聞 2020/05/23、毎日新聞 2020/05/30



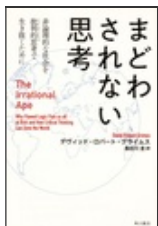
江戸とアバター～私たちの内なるダイバーシティ～(朝日新書 757)

池上 英子、田中 優子 著
朝日新聞出版

武士も町人も一緒に遊んでいた江戸文化はダイバーシティ(多様性)そのものだった。一人が何役も「アバター」を演じる落語にその姿を垣間見る。今アメリカで議論される「パブリック圏」をひいて、日本人の本来の生き方を探る。

2020:3./ 306p
978-4-02-295062-8
本体 ¥890+税

日本経済新聞 2020/05/30



まどわされない思考～非論理的な社会を批判的思考で生き抜くために～

デヴィッド・ロバート・グライムス 著
KADOKAWA

経験則に基づいた直感的な推論には、落とし穴がひそんでいる。あらゆる種類の間違った判断を見てきた著者が、全世界の実例を挙げながら、まどわされずに思考するために何に気をつければいいのかを説く。

2020:3./ 463p
978-4-04-107843-3
本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2020/05/30



おおきな森

古川 日出男 著
講談社

小説家兼探偵・坂口安吾が、失踪したコールガールを追う第一の森。記憶を持たない男・丸消須ガルシヤが乗った列車で不可解な殺人が起きる第二の森。そして私は手記「消滅する海」をしたため続ける…。『群像』連載を単行本化。

日本経済新聞 2020/05/30

2020:4./ 893p
978-4-06-518739-5
本体 ¥4,000+税



鉄道のドイツ史～帝国の形成からナチス時代、そして東西統一へ～(中公新書 2583)

ばん澤 歩 著
中央公論新社

統一国家の形成や二度の世界大戦などの激動に、ドイツの鉄路はいかなる役割を果たしたのか。「富と速度」(ゲーテ)の国民経済を模索した苦闘とともに、「欧州の盟主」の実像を描き出す。

日本経済新聞 2020/05/30

2020:3./ 5p,290p
978-4-12-102583-8
本体 ¥900+税



皇国日本とアメリカ大権～日本人の精神を何が縛っているのか?～(筑摩選書 0186)

橋爪 大三郎 著
筑摩書房

人びとはなぜ、昭和の総動員体制に巻き込まれていったのか。敗戦で「アメリカ大権」になったのを、鋭敏な知識人ですら直視しないのは、なぜか。戦前の聖典「國體の本義」を解説し、戦前・戦後を貫流する日本人の無意識を問う。

日本経済新聞 2020/05/30

2020:3./ 285p
978-4-480-01694-2
本体 ¥1,600+税



米陸軍日本語学校(ちくま学芸文庫 ハ 53-1)

ハーバート・パッシン 著
筑摩書房

第二次大戦中、アメリカでは占領政策などを見据えて、陸海軍で日本語の習得を目的とする学校を設立した。1946 年に GHQ 職員として来日した著者が、米陸軍日本語学校の実態と、占領将校としての日本との出会いを描く。

日本経済新聞 2020/05/30

2020:4./ 269p
978-4-480-09973-0
本体 ¥1,100+税



アセモグル/レイブソン/リスト マクロ経済学

ダロン・アセモグル、デヴィッド・レイブソン、ジョン・リスト 著
東洋経済新報社

スター経済学者らによるマクロ経済学の入門テキスト。経済学のアプローチの核心を「最適化」「均衡」「経験主義」の 3 つの原理にまとめ、理論と現実データのマッチングに重点を置いて解説する。充実のコラム、演習問題も収録。

日本経済新聞 2020/05/30

2019:2./ 38p,624p
978-4-492-31512-5
本体 ¥3,800+税



アセモグル/レイブソン/リスト ミクロ経済学

ダロン・アセモグル／デヴィッド・レイブソン／ジョン・リスト 著
東洋経済新報社

ミクロ経済学の基礎から、実験経済学と行動経済学の知見を取りこんだ拡張までを学べる入門テキスト。現実のデータからスタートして、3 つの原理と 3 種類のコラムで経済社会を読み解く。復習/演習問題付き。

日本経済新聞 2020/05/30

2020:3./ 42p,758p
978-4-492-31513-2
本体 ¥3,800+税



日本経済の再構築

小黒 一正 著

日本経済新聞出版社

我々の未来に不安をもたらす様々な問題は、なぜ解決できないのか。誰もが安心して暮らせ、競争力が高い国をどう構築するのか。日本が抱える問題の根源を明らかにし、抜本的改革と成長戦略の包括プランを提案する。

日本経済新聞 2020/05/30

2020:3./ 381p

978-4-532-35839-6

本体 ¥2,200+税



シャドウ・ウォー～中国・ロシアのハイブリッド戦争最前線～

ジム・スキアット 著

原書房

ネット世論操作からサイバー攻撃、プロパガンダから軍事行動まで、あらゆる手段を駆使した「シャドウ・ウォー」。さまざまな現地取材し、米中ロによる「いまここで起こっている戦争」について、警鐘を鳴らす。

日本経済新聞 2020/05/30

2020:3./ 326p

978-4-562-05748-1

本体 ¥2,400+税



江戸後期の詩人たち(東洋文庫 816)

富士川 英郎 著

平凡社

日本の漢詩は江戸後期に初めて世間に幅広く普及した。江戸後期の詩人約 50 人の略伝と代表作を紹介。大正から昭和に至り忘れられた漢詩文の豊かな富を悠々たる筆致で現代に蘇らせた名著。

日本経済新聞 2020/05/30

2012:1./ 396p

978-4-582-80816-2

本体 ¥3,100+税



人体は流転する～医学書が説明しきれないからだの変化～

ギャヴィン・フランシス 著

みすず書房

生きることは、終わりのない身体変容のただなかにいること。スコットランドの家庭医フランシスが、患者たちとのエピソードを、歴史や芸術などの知識を織り交ぜて描く。「人体の冒険者たち」に続く臨床医学的博物誌・第2弾。

日本経済新聞 2020/05/30

2020:4./ 276p,25p

978-4-622-08890-5

本体 ¥3,400+税



21 世紀のメキシコ革命～オアハカのストリートアーティストがつむぐ物語歌～

山越 英嗣 著

春風社

2006 年、メキシコ南西部のオアハカ州の州都オアハカ市で生じた州政府への大規模な抗議運動。政治的なストリートアート制作する先住民アーティストたちの活動から、変化する歴史意識と先住民イメージを描く。

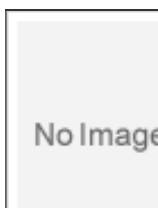
日本経済新聞 2020/05/30

2020:3./ 233p,5p 図

版 12p

978-4-86110-675-0

本体 ¥3,600+税



京の配膳さん～京都の宴席を陰で支える人たち～

笠井 一子 著

向陽書房

京都に古くからある配膳さんという職業。あらゆる宴式や儀式、催しなどに際して高度な接客技術を持つ、陰のコーディネーター、配膳さんの仕事を辿り、京都の奥深い生活文化を探る。

日本経済新聞 2020/05/30

1996:3./ 208p

978-4-906108-31-2

本体 ¥1,748+税





デジタル・デモクラシーがやってくる!～AI が私たちの社会を変えるんだったら、政治もそのままってわけにはいかないんじゃない?～

谷口 将紀／穴戸 常寿 著

中央公論新社

AI が暮らしを一新するなら、新しいデモクラシーが必要になる? 政治学者と憲法学者が、国民が考え、代表を選び、物事を決定するというデモクラシーのプロセスを再考。今ある制度を超える新しいデモクラシーの可能性を探る。

2020:3./ 251p

978-4-12-005277-4

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/05/30、読売新聞 2020/05/31



経済学を味わう～東大 1、2 年生に大人気の授業～

市村英彦／岡崎哲二／佐藤泰裕／松井彰彦 編

日本評論社

各分野のフロンティアで活躍する東大の経済学者たちによるオムニバス講義を書籍化。はじめて経済学に触れる人たちに、経済学がいま、どのような問題を取り上げ、どのようにその問題の解決に取り組んでいるかを紹介する。

2020:4./ 12p,285p

978-4-535-55955-4

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/05/30、毎日新聞 2020/05/30



漱石と鉄道(朝日選書 996)

牧村健一郎 著

朝日新聞出版

汽車で各地を旅する近代の申し子でありながら、鉄道を通じて、競争、能率、スピード、利便性、成果主義の近代文明のあやうさ、戦争の愚かしさを語った夏目漱石。鉄道を憎みつつ愛した漱石の汽車旅の足跡を路線ごとにとずねる。

2020:4./ 313p

978-4-02-263096-4

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2020/05/02



MMT～現代貨幣理論とは何か～(講談社選書メチエ 718)

井上 智洋 著

講談社

21 世紀の経済論壇、政治潮流に激震を走らせた現代貨幣理論(MMT)。経済のマクロな仕組みの初歩から、貨幣というものの本質論まで、標準的な経済学の理論もふまえて、MMT を中立的に分析する。

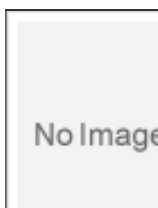
2019:12./ 152p

978-4-06-518204-8

本体 ¥1,350+税



毎日新聞 2020/05/02



射程(新潮文庫)

井上靖 著

新潮社

0

1983:3./ 414p

978-4-10-106309-6

本体 ¥505+税



毎日新聞 2020/05/02



風濤 改版(新潮文庫)

井上靖 著

新潮社

0

2009:1./ 341p

978-4-10-106317-1

本体 ¥590+税



毎日新聞 2020/05/02



カラスは飼えるか

松原 始 著
新潮社

カラスってやっぱりおもしろい！ 鷹の速さやフクロウの平たい顔の秘密、恐竜との関係や天候不順にどう対応しているかなど、身近な鳥の秘密に迫りつつ、カラスの生態やポイントを、あますところなく伝える。カラス情報も収録。

2020:3./ 223p

978-4-10-353251-4

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2020/05/02



内戦と和平～現代戦争をどう終わらせるか～(中公新書 2576)

東 大作 著
中央公論新社

軍事紛争を止め、持続的な平和を達成する方法はあるのか。日本はどんな役割を担えるのか。21 世紀以降の内戦の過程を分析し、仲介者による「和平調停」活動を中心に据えた、戦争克服の処方箋を探る。

2020:1./ 7p,258p

978-4-12-102576-0

本体 ¥880+税



毎日新聞 2020/05/02



そして、みんなバカになった(河出新書)

橋本 治 著
河出書房新社

日本はなぜこんな国になったのか、そしてこの先、どうなるのか？ 橋本治が 2000 年代に残した貴重なインタビュー。日本、教養、老い、読書など、ひたすら自分の頭で考え続けた橋本治から、本当の教養とは何かを学ぶ。

2020:4./ 237p

978-4-309-63119-6

本体 ¥840+税



毎日新聞 2020/05/02



あやうく一生懸命生きるところだった

ハ・ワン 著
ダイヤモンド社

同じ人生なら「一生懸命」より「楽しく」-。40 歳を目前にして会社を辞め、頑張らずに生きることを決意した著者が贈る、生きづらさを手放すための言葉の数々。“自分らしい生き方”に出会える人生エッセイ。

2020:1./ 287p

978-4-478-10865-9

本体 ¥1,450+税



毎日新聞 2020/05/02



高橋和巳論～宗教と文学の格闘的契り～

清 眞人 著
藤原書店

高橋和巳の全作品に通底する問いとは何だったか。生真面目なほどの一途さで戦後の「忘却への意志」に抗おうとした高橋文学。20 世紀日本の「原罪」に果敢に立ち向かった作家の今日的意味を解き明かす。

2020:3./ 567p

978-4-86578-263-9

本体 ¥6,200+税



毎日新聞 2020/05/02



未来へ～原爆の図丸木美術館学芸員作業日誌 2011-2016～

岡村 幸宣 著
新宿書房

「原爆の図」を胸に抱いて歩き続ける荒野の先に、過去と未来がつながっていく-。東松山からアメリカ、ヨーロッパまで、時間と空間を超えて交錯する出会いと終わりなき逡巡の日々を綴る。『東京新聞』ほか掲載を加筆し書籍化。

2020:3./ 323p

978-4-88008-480-0

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2020/05/02



あいたくてききたくて旅にでる

清水 チナツ 編

PIMPQUAKES

50 年にわたり東北の村々を訪ね、民話を乞うてきた民話探訪者・小野和子が、探訪の旅日記を軸に、聞かせてもらった民話、手紙、文献などさまざまな性質のテキストを、旅で得た実感とともに編んだ全 18 話を収録。

2019:12./ 357p

978-4-9911310-0-4

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2020/05/02



あの本は読まれているか

ラーラ・プレスコット 著

東京創元社

反体制とみなされ、共産圏で禁書となっている小説「ドクトル・ジバゴ」をソ連国民の手に渡し、迫害を行っているソ連の現状を知らしめる。冷戦下、一冊の小説を武器とし、危険な任務に挑む女性たちを描くエンターテインメント。

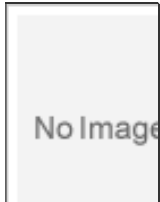
2020:4./ 443p

978-4-488-01102-4

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/05/02、産経新聞 2020/05/10、朝日新聞 2020/05/30



ドクトル・ジバゴ<下巻>(新潮文庫)

ボリス・レオニードヴィチ・パステルナーク 著

新潮社

0

1989:4./ 553p

978-4-10-228402-5

本体 ¥660+税



毎日新聞 2020/05/02、朝日新聞 2020/05/30



ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい

大前 栗生 著

河出書房新社

僕もみんなみたいに恋愛を楽しめたらいいのに。大学 2 年生の七森は“男らしさ”“女らしさ”のノリが苦手。こわがらせず、侵害せず、誰かと?がれるのかな? 鋭敏な感性が光る小説 4 篇を収録。

2020:3./ 172p

978-4-309-02874-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/05/02、読売新聞 2020/05/31



暗鬼夜行

月村了衛 著

毎日新聞出版

SNS に投じられた生徒の<告発>。突如浮上した、学校代表の「読書感想文」盗作疑惑。学び舎の陰より生まれし悪意が、一人の教師を奈落の闇に突き落とす。『サンデー毎日』連載を単行本化。

2020:4./ 397p

978-4-620-10849-0

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/05/03



江戸の夢びらき

松井 今朝子 著

文藝春秋

荒事の開祖にして、最後は舞台上で刺殺されたカリスマ。信仰に近い人気を得て、今なお愛される名演目と斬新な演出を生み出した不世出の天才。謎多き初代市川團十郎の生涯を、元禄の狂乱と江戸歌舞伎の胎動とともに描き切る。

2020:4./ 351p

978-4-16-391196-0

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2020/05/03、朝日新聞 2020/05/23



紫陽花舎随筆(講談社文芸文庫 か X1)

鍋木 清方 著

講談社

鎌倉に永く暮らした鍋木清方は、明治から昭和まで活躍した近代日本を代表する日本画家であり、名随筆家でもあった。失われた市井の人々の暮らしへの尽きることのない愛情を、美しく流麗な文章で綴った珠玉の随筆集。

2018:7./ 294p

978-4-06-512307-2

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/05/09



バッティングピッチャー～背番号三桁のエースたち～(集英社文庫 さ 60-3)

澤宮 優 著

集英社

王貞治、長嶋茂雄、落合博満、松井秀喜、イチローといった天才打者の活躍を支えたバッティングピッチャーたち。彼らの存在なくして、今の球界の盛り上がりはありえない。バッティングピッチャーたちの知られざる姿に迫る。

2020:3./ 314p

978-4-08-744089-8

本体 ¥660+税



毎日新聞 2020/05/09



日本語びいき(中公文庫 し 52-1)

清水 由美、ヨシタケ シンスケ 著

中央公論新社

ごもつともなう抜き、奥ゆかしい自動詞、群れからはぐれた単語たち、発音しない発音…。日本語教師である著者が、愉快的文例を駆使して日本語を説く。オリジナルのコラム&新章を増補して文庫化。

2018:8./ 221p

978-4-12-206624-3

本体 ¥700+税



毎日新聞 2020/05/09



折口信夫伝～その思想と学問～(ちくま学芸文庫 オ 30-1)

岡野 弘彦 著

筑摩書房

現実との葛藤を常に抱えながら展開された折口信夫の学問とはいったい何であったのか。最後の弟子が足跡のひとつひとつを確かめながら、折口の内面の真実ををつぶさに描き出す伝記。

2020:2./ 508p

978-4-480-09963-1

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/05/09



アメリカン・プリズン～潜入記者の見た知られざる刑務所ビジネス～

シェーン・パウアー 著

東京創元社

刑務官の時給は9ドル、丸腰で1人あたり176人の受刑者を監視。刑務官として実際に勤務した記者が見た、民営刑務所の実態。囚人たちから利益をあげる政府や企業が築きあげた仕組みとは。衝撃のノンフィクション。

2020:4./ 340p,35p 図

版 16p

978-4-488-00394-4

本体 ¥2,100+税



毎日新聞 2020/05/09



大忙しの蜜月旅行(創元推理文庫 M セ 1-12)

ドロシー・L・セイヤーズ 著

東京創元社

とうとう結婚へと至ったウィムジイ卿と探偵小説作家のハリエット。従僕と3人で向かった蜜月旅行先は、買い取ったばかりの農家。前の所有者が待っているはずなのに、家は真っ暗で、地下室から死体が…。後日譚も収録。

2020:2./ 661p

978-4-488-18313-4

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2020/05/09



すばらしき日本語(ポプラ新書 188)

清水 由美 著

ポプラ社

日本語という言葉は、奇跡のように整理整頓が行き届いたとても美しいことば。30 数年にわたり、留学生に日本語を教えてきた日本語教師が、ユーモアあふれる文章でその魅力を語る。ブログ『猫な日本語』掲載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2020/05/09

2020:3./ 233p

978-4-591-16637-6

本体 ¥860+税



重版未来～表現の自由はなぜ失われたのか～

川崎 昌平 著

白泉社

みんな失ってから叫ぶのだろう。表現の自由がほしい、と…。本が、物語が存在を許されないディストピアで「表現する自由」のため戦い続ける人々を描く。『楽園』web 増刊掲載に書きおろしを加えて単行本化。

毎日新聞 2020/05/09

2020:2./ 191p

978-4-592-71164-3

本体 ¥1,200+税



積読こそが完全な読書術である

永田 希 著

イースト・プレス

情報が溢れかえり消化が困難な現代に、充実した読書生活を送るための方法論として「積読」を提案。バイヤール、アドラーをはじめとする読書論を足掛かりに「ファスト思考の時代」に対抗する知的技術として「積読」へと導く。

毎日新聞 2020/05/09

2020:4./ 238p

978-4-7816-1864-7

本体 ¥1,700+税



ザ・うらたじゅん～全マンガ全一冊～

うらた じゅん 著

第三書館

不世出の不思議な女性マンガ家、うらたじゅん。「怪奇ラクダ女」「遠い遠い夜の音」など、2019 年 2 月に早世したうらたじゅんの全マンガを収録する。4 コママンガやイラスト集、荒木ゆずるによる解説、年譜も収録。

毎日新聞 2020/05/09

2019:12./ 632p

978-4-8074-1999-9

本体 ¥2,800+税



清水幾太郎～経験、この人間的なるもの～(ミネルヴァ日本評伝選)

庄司 武史 著

ミネルヴァ書房

社会学者、思想家の清水幾太郎は、基地反対闘争や安保闘争の論陣を張るも、日米安保条約改定後は研究に戻り、晩年は天皇制や教育勅語の再評価などに舵を切った。縦横な言論活動をまっとうした、昭和屈指の知識人の軌跡を追う。

毎日新聞 2020/05/09、産経新聞 2020/05/17、日本経済新聞 2020/05/23

2020:4./

18p,393p,13p

978-4-623-08958-1

本体 ¥3,500+税



旅のつばくろ

沢木 耕太郎 著

新潮社

思い起こせば私が初めて 1 人だけの大旅行をしたのが 16 歳のときの東北一周旅行だった…。世界を巡ってきた著者が、あの頃のように日本を気ままに歩いて綴った旅エッセイ。JR 東日本車内誌『トランヴェール』連載を単行本化。

毎日新聞 2020/05/09、産経新聞 2020/05/31

2020:4./ 213p

978-4-10-327521-3

本体 ¥1,000+税





武器としての「資本論」

白井 聡 著

東洋経済新報社

なぜ格差社会が生まれるのか。なぜ自己啓発書を何冊読んでも救われないのか。なぜ上司がイヤな態度をとるのか。今の時代を考える上で特に役に立つと考えられる概念を取り上げ、「資本論」の魅力を伝えるまったく新しい入門書。

2020:4./ 290p

978-4-492-21241-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/05/09、朝日新聞 2020/05/23



飯田龍太全句集(角川ソフィア文庫 D119-1)

飯田 龍太 著

KADOKAWA

「かたつむり甲斐も信濃も雨のなか」「春の鶯寄りわかれては高みつつ」など、郷里の風光と人事をこまやかに詠い上げた飯田龍太。既刊句集 10 冊に拾遺を加えた全 5728 句に、自句自解抄、年譜、季語索引を付した全句集。

2020:4./ 750p

978-4-04-400599-3

本体 ¥1,720+税



毎日新聞 2020/05/09、朝日新聞 2020/05/30



監獄の誕生～監視と処罰～ 新装版

ミシェル・フーコー 著

新潮社

肉体に苦痛を与える刑から魂を罰する刑へ。国家権力の集中機構としての監獄を、独得の「考古学的」手法により捉え、その本質と特徴を解明する。監視と処罰による権力のメカニズムを探求する思想書。

2020:4./ 367p,26p 図
版 24p

978-4-10-506709-0

本体 ¥4,900+税



毎日新聞 2020/05/11



貧しかったが、燃えていた～昭和の子どもたち～

庄司 丈太郎 著

南々社

全身で生きているほんものたち。写真機を肩に日雇い労働し、全国の労働者と日本の姿を見てきた庄司丈太郎が、大阪・釜ヶ崎をはじめ、沖縄、鳥取、島根、神戸、広島など、昭和の子どもたちを撮影したモノクローム写真集。

2019:7./ 123p

978-4-86489-098-4

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2020/05/11



日本再生の基軸～平成の晩鐘と令和の本質的課題～

寺島 実郎 著

岩波書店

食と農を切り捨てた「工業生産力モデル」の成功体験はいま、デジタル経済への構造転換の足かせとなっている。戦後日本を再考し、転換期の世界を生き抜く「全体知」を探る。同時代人・内田樹との対談も収録。

2020:4./ 10p,171p

978-4-00-061403-0

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2020/05/16



火の娘たち(岩波文庫 32-575-2)

ネルヴァル 著

岩波書店

パリの女優の面影が呼び覚ます、故郷ヴァロワの日々。幼なじみの娘たちの回想は、過去と現在、夢とうつつとを往還する。小説、戯曲、翻案、詩を一つに編み上げた、幻想の作家ネルヴァルの珠玉の作品集。

2020:3./ 613p

978-4-00-325752-4

本体 ¥1,260+税



毎日新聞 2020/05/16



ムーミン全集<1> 新版 ムーミン谷の彗星

トーベ・ヤンソン 著

講談社

フィンランドの作家トーベ・ヤンソンによる「ムーミントロール」のお話。原書最終版に基づき細部にこだわって現代的な文章で綴り、クリアで美しいさし絵を添えた新版。1は、ムーミン谷の彗星を収録。

2019:3./ 223p

978-4-06-514855-6

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/05/16



三体

劉 慈欣、大森 望、光吉 さくら、ワン チャイ、立原 透耶 著

早川書房

物理学者の父を文化大革命で亡くし、人類に絶望した中国人エリート科学者・葉文潔。ある日、彼女は謎めいた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが極秘裏に進行していて…。

2019:7./ 447p

978-4-15-209870-2

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2020/05/16



荒潮(新☆ハヤカワ・SF・シリーズ 5046)

陳 楸帆 著

早川書房

シリコン島で、電子ゴミから資源を探し出して暮らす少女、米米。島は代々御三家に支配されてきた。だが、ある会社の環境再生計画により、事態は変化し…。中国 SFの超新星による近未来的科幻長篇。登場人物表付き。

2020:1./ 349p

978-4-15-335046-5

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/05/16



月岡草飛の謎

松浦 寿輝 著

文藝春秋

俳人・月岡草飛は妻を亡くして気まま放題。彼のもとに持ち込まれる謎めいた依頼の数々。生きる欲望に食欲に突き進むうち、いつしか異界に迷いこみ…。ブラックユーモア短編集。『文藝春秋』掲載を単行本化。

2020:2./ 296p

978-4-16-391172-4

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/05/16



皇国史観(文春新書 1259)

片山 杜秀 著

文藝春秋

天皇中心の近代国家を目指した日本のアイデンティティと歴史を理論づけたものとして、「皇国史観」をとらえなおす。幕末の水戸学から平泉澄、柳田国男、網野善彦まで、歴史と天皇をめぐる近代日本の思想史を縦断する。

2020:4./ 230p

978-4-16-661259-8

本体 ¥820+税



毎日新聞 2020/05/16



おちび

エドワード・ケアリー、古屋 美登里 著

東京創元社

マリーは風変わりな?彫刻家の弟子となり、パリの裏通りにやってくる。芸術的才能を買われ、ヴェルサイユ宮殿に呼ばれたマリーは…。革命期のパリを舞台に、後に伝説のマダム・タッソーとなる女の子の数奇な生涯を描く。

2019:11./ 588p

978-4-488-01098-0

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2020/05/16



野中モモの「ZINE」小さなわたしのメディアを作る(シリーズ《日常術》)

野中 モモ 著

晶文社

世界で一番小さなメディア「ZINE」。自ら ZINE を作り、探し、紹介してきた著者が、自身の経験や、ZINE のとりこになった人たちの声を伝えながら、色鮮やかな ZINE の世界を紹介する。

2020:3./ 145p

978-4-7949-7171-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/05/16



それとは違う小津安二郎〜『東京の合唱』と『生れてはみたけれど』-大人の見る絵本』のおもしろさを徹底説明〜

高橋 行徳 著

鳥影社

冷遇されてきた小津安二郎監督のサイレント映画。傑作「東京の合唱」と「生れてはみたけれど-大人の見る絵本」を取り上げ、シナリオに主眼をおいて、そのおもしろさを説明。当時の出来事や事柄などにも言及する。

2020:5./ 333p

978-4-86265-804-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/05/16



感情の歴史<第1巻> 古代から啓蒙時代まで

ジョルジュ・ヴィガレロ 編

藤原書店

「身体」の歴史」「男らしさの歴史」に続く三部作「歴史の時空」シリーズ完結編。人類と共に存在する感情の歴史を探る。1 は、古代から啓蒙の時代までを取り上げ、古代ギリシアから西洋近代に至る一大パノラマを築き上げる。

2020:4./ 751p 図版
24p

978-4-86578-270-7

本体 ¥8,800+税



毎日新聞 2020/05/16



女王の肖像〜切手蒐集の秘かな愉しみ〜

四方田 犬彦 著

工作舎

さらば帝国、植民地。されど切手は後まで残る。ペニー・ブラック、軍事切手、文革切手、エラー切手…。9 歳から切手を集め続けている著者が切手蒐集の愉しみを綴る。『kotoba』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2019:10./ 285p 図版
10p

978-4-87502-513-9

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2020/05/16



民主主義の非西洋起源について〜「あいだ」の空間の民主主義〜

デヴィッド・グレイバー 著

以文社

「民主主義はアテネで発明されたのではない」豊穡なる人類学的・歴史的知見から民主主義の通念を粉碎し、私たちの民主主義の創造をふたたび解き放つ。民主主義の展開をアナキズムの観点から捉え直す。

2020:4./ 187p

978-4-7531-0357-7

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2020/05/16、朝日新聞 2020/05/30



配膳さんという仕事〜なぜ京都はもてなし上手なのか〜

笠井 一子 著

平凡社

宴会、儀式などの進行を万事裏方でとり仕切る、京都にだけ存在する男性だけの職業、「配膳さん」。「配膳」という仕事を通して、京都という町が育んできた「もてなし」の精神、その美的感覚と技術を生き生きと伝える。

2020:4./ 213p

978-4-582-83827-5

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2020/05/16、日本経済新聞 2020/05/30



佐藤栄作最後の密使～日中交渉秘史～

宮川 徹志 著
吉田書店

1972 年、田中角栄によって実現した日中国交正常化の 99%は、佐藤栄作の手で解決済みであった。佐藤が中国との交渉にあたらせた一人の密使の実像に、新たに発見された資料を基に迫る。

2020:4./ 302p,63p

978-4-905497-85-1

本体 ¥2,900+税



毎日新聞 2020/05/16、日本経済新聞 2020/05/30



レイシズム(講談社学術文庫 2570)

ルース・ベネディクト 著
講談社

レイシズムは科学のふりをした迷信である。純粋な人種や民族などは存在しないことを明らかにし、国家、言語、遺伝、さらに文化による人間集団に優劣があると宣伝するレイシストたちの迷妄を糾す。

2020:4./ 221p

978-4-06-519387-7

本体 ¥920+税



毎日新聞 2020/05/23



赤ちゃんをわが子として育てる方を求む

石井 光太 著
小学館

産婦人科医・菊田昇は、望まぬ妊娠をした女性と子どもを望む夫婦の橋渡しを始める。それは法を犯すことでもあった。国を相手に闘い「特別養子縁組制度」成立に人生をかけた男の物語。『きらら』連載を改題、加筆改稿。

2020:4./ 355p

978-4-09-386574-6

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2020/05/23



クロス

山下 紘加 著
河出書房新社

警備会社で働く 28 歳の「私」は、結婚していながら関係が続いていた浮気相手との悪戯をきっかけに、女性装にのめりこむ。あるとき女装で訪れたバーで、タケオと名乗る男に出会い、惹かれていくが…。『文藝』掲載を単行本化。

2020:4./ 152p

978-4-309-02877-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/05/23



あなたと原爆～オーウェル評論集～(光文社古典新訳文庫 KA オ 5-1)

ジョージ・オーウェル 著
光文社

原爆投下のわずかふた月後、その後の核をめぐる米ソの対立を予見し「冷戦」と名付けた表題作をはじめ、「象を撃つ」「絞首刑」など 16 篇を収録。「一九八四年」に?がる先見性に富む評論集。

2019:8./ 307p

978-4-334-75408-2

本体 ¥880+税



毎日新聞 2020/05/23



おこりんぼう～ひと言申し上げたい～

林 望 著
春陽堂書店

軽重な風潮や見過ごせないことに怒り、訴え、時には世に逆らう頑固さも大切だと論ず、りんぼう先生熱血演舌・64 席。実践倫理宏正会機関誌『倫風』の連載をまとめたエッセイ集。

2020:4./ 284p

978-4-394-90362-8

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/05/23



知っておきたい日本の絶滅危惧植物図鑑

長澤 淳一／瀬戸口 浩彰 著

創元社

主な絶滅危惧植物 100 種以上を紹介。代表的な種の写真や解説のほか、危険度リンクやレッドリスト、生物多様性など、私たちが知っておくべき基本的な知識や保全活動の現状などをまとめる。和名索引付き。

2020:4./ 238p

978-4-422-43030-0

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/05/23



「発達障害」とされる外国人の子どもたち～フィリピンから来日したきょうだいをめぐって、10人の大人たちの語り～

金 春喜 著

明石書店

いま教育現場では、日本語がわからない外国ルーツの子どもが「発達障害」と診断され、特別支援学級に編入されるケースが増えている。この問題のメカニズムと背景を明らかにし、日本の外国人支援政策の陥穽を問う。

2020:2./ 253p

978-4-7503-4972-5

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2020/05/23



三木竹二～兄?外と明治の歌舞伎と～(水声文庫)

木村 妙子 著

水声社

森?外の実弟で、劇評の第一人者として名を馳せた三木竹二。近代からの批判に曝された歌舞伎に深く魅せられ、その衰退を押しとめるべく、歌舞伎劇の型の記録・保存に邁進しながら、若くして逝った彼の生涯と仕事を描き出す。

2020:5./ 496p 図版
40p

978-4-8010-0465-8

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2020/05/23



コンビニ断ち脱スマホ～便利さはほどほどで～

黒沢 大陸 著

コモンズ

コンビニを利用せず、スマホも仕事以外は使わない。便利すぎる生活の「すぎる」の部分の少し削ぐだけで、多くのことが発見できる。朝日新聞記者が、「便利すぎる生活」からの脱却体験を綴る。

2020:4./ 191p

978-4-86187-165-8

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/05/23



夢に住む人～認知症夫婦のふたりごと～

木部 克彦 著

言視舎

笑いあり、「!」あり、認知症の老齢夫婦のふたり暮らし。市民賞に輝く大根を生産した父、懸命に夫の世話を焼く母。認知症とともに自宅暮らしを続ける 2 人のこころの声やつぶやきを、群馬弁でまとめたノンフィクション。

2020:4./ 191p

978-4-86565-178-2

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/05/23



ロシア万華鏡～社会・文学・芸術～(五柳叢書 109)

沼野 恭子 著

五柳書院

ロシアの風土に生きる人々の暮らし、笑い、活力、そして懐かしさ。東京外国語大学教授・沼野恭子が 2007 年よりおよそ 10 年間に書き溜めたロシアに関する文章をまとめる。「社会編」「文学編」「芸術編」で構成。

2020:3./ 406p

978-4-901646-36-9

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2020/05/23



世界は贈与でできている～資本主義の「すきま」を埋める倫理学～

近内 悠太 著

ニューズピック

仕事のやりがい、生きる意味、大切な人とのつながり。なぜこれらを狂おしいほどに追い求めるのか。どうすれば「幸福」に生きられるのか。若き哲学者が、「贈与」や「言語」「常識」の成り立ちを通して説き起こす。

2020:3./ 251p

978-4-910063-05-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/05/23



五・一五事件～海軍青年将校たちの「昭和維新」～(中公新書 2587)

小山 俊樹 著

中央公論新社

大川周明、北一輝、橘孝三郎ら海軍青年将校は、なぜ天皇親政の「昭和維新」を唱え、首相暗殺など兇行に走ったのか。そして、なぜ多くの国民は実行犯の減刑を嘆願したのか。昭和戦前の最大の分岐点の全貌とその後を描く。

2020:4./ 7p,286p

978-4-12-102587-6

本体 ¥900+税



毎日新聞 2020/05/23、読売新聞 2020/05/24



風土～人間学的考察～(岩波文庫 青 144-2)

和辻哲郎 著

岩波書店

風土とは単なる自然環境ではなくして、人間の精神構造の中に刻みこまれた自己了解の仕方に他ならない。今日なお論議をよんでやまぬ比較文化論の一大労作である。

1979:5./ 299p

978-4-00-331442-5

本体 ¥1,010+税



毎日新聞 2020/05/30



人生の1冊の絵本(岩波新書 新赤版 1828)

柳田 邦男 著

岩波書店

絵本には、幼き日の感性の甦りが、こころのもち方の転換が、いのちの物語が、人を見つめる木々の記憶が、そして祈りの静寂がある。約 150 冊の絵本を解説しながら、その魅力を綴る。

2020:2./ 6p,338p,3p

978-4-00-431828-6

本体 ¥980+税



毎日新聞 2020/05/30



百田尚樹をぜんぶ読む(集英社新書 1018)

杉田 俊介／藤田 直哉 著

集英社

ベストセラー作家にして敏腕放送作家。そして「保守」論客。メディアを賑わせる百田尚樹とは、何者か。批評家と文芸評論家が、全作品を徹底的に論じる。

2020:4./ 318p

978-4-08-721118-4

本体 ¥940+税



毎日新聞 2020/05/30



画家とモデル～宿命の出会い～

中野 京子 著

新潮社

小人症の人々の威厳ある姿を描いたベラスケスの秘密、身分違いの女公爵への愛のメッセージを絵に潜ませたゴヤ…。名画に刻まれた描く者と描かれる者の知られざる関係を読み解く。カラー図版も収録。『芸術新潮』連載を書籍化。

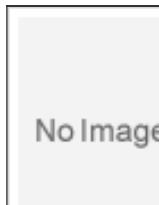
2020:3./ 190p

978-4-10-353231-6

本体 ¥1,750+税



毎日新聞 2020/05/30



「サピエンス全史」期間限定セット【全2巻】

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

国家、貨幣、企業...虚構が他人との協力を可能にし、文明をもたらした!ではその文明は人類を幸福にしたのだろうか?現代世界を鋭くえぐる、50 カ国以上で刊行の世界的ベストセラー!

2020:2./ 568p

978-4-309-86776-2

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2020/05/30



みずうみ/三色すみれ/人形使いのポーレ(光文社古典新訳文庫 KA シ 9-1)

シュトルム 著

光文社

幼なじみとの初恋とその後日を回想する「みずうみ」。継母と前妻の娘との心の揺れを描く「三色すみれ」。旅芸人一座との出会いと別れ、そして思いがけず再会する「人形使いのポーレ」。繊細な心理描写で綴る傑作 3 篇。

2020:5./ 245p

978-4-334-75424-2

本体 ¥840+税



毎日新聞 2020/05/30



永遠の0

百田 尚樹 著

太田出版

生への執着を臆面もなく口にし、仲間からさげすまれたゼロ戦パイロット。「生きて帰る」という妻との約束にこだわり続けた男は、なぜ特攻を志願したのか?はるかなる時を超えて結実した、苛酷にして清冽なる愛の物語。

2006:8./ 445p

978-4-7783-1026-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/05/30



銃・病原体・鉄〜一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎〜<上巻>(草思社文庫 ダ 1-1)

ジャレド・ダイヤモンド 著

草思社

アメリカ大陸の先住民はなぜ、旧大陸の住民に征服されたのか。世界に広がる富とパワーの「地域格差」を生み出したものとは。人類史に隠された壮大な謎を、広範な知見を駆使して解き明かす。

2012:2./ 395p,17p

978-4-7942-1878-0

本体 ¥900+税



毎日新聞 2020/05/30



銃・病原体・鉄〜一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎〜<下巻>(草思社文庫 ダ 1-2)

ジャレド・ダイヤモンド 著

草思社

世界史の勢力地図は侵略と淘汰が繰り返される中で幾度となく塗り替えられてきた。勝者と敗者を分けた要因とは、地域による差を生み出した真の要因とはなにか。人類史に隠された壮大な謎を、広範な知見を駆使して解き明かす。

2012:2./ 412p,18p

978-4-7942-1879-7

本体 ¥900+税



毎日新聞 2020/05/30



専門知を再考する

H・コリンズ／R・エヴァンズ 著

名古屋大学出版会

科学技術の浸透した世界で物事を決めるとき、専門家を無視することも、絶対的に信賴することもできない。会話や「農民の知」から、査読や科学プロジェクト運営まで、専門知の多様なあり方を初めてトータルに位置づける。

2020:4./ 7p,179p,30p

978-4-8158-0986-7

本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2020/05/30



にっぽんアニメ創生記

渡辺 泰／松本 夏樹／フレデリック・S・リッテン／中川 譲 著
集英社

日本の「アニメ」はいつ、どのように誕生したのか。下川凹天、北山清太郎、幸内純一
ら、日本のアニメの先駆者 3 人の作品と制作手法、生涯にスポットを当て、知られざる
日本アニメ黎明期の姿に迫る。

2020:3./ 317p

978-4-08-781687-7

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2020/05/30、読売新聞 2020/05/31